

Future Spirits

FutureWeb Pro

FutureWeb VPS

スタートアップガイド

Vol.005



目次

目次	2
はじめに	3
ログイン方法と画面説明	4
Plesk へのログイン方法	4
ログイン情報の変更方法 (パスワード)	5
ログイン後の画面説明	7
サイトを公開する	8
データのアップロード方法	8
FTP アカウントの管理	16
データベースの作成 (MySQL)	22
メールを利用する	24
メールアカウント作成	24
パスワードの変更	26
転送設定	28
メールエイリアス	30
自動応答	32
スパムフィルタの設定	34
ウェブメールの選択	36
ウェブメールの使い方	38
メールソフトの設定	45
応用編	47
SSL 証明書の設置 (Let's Encrypt)	47
バックアップの設定 (自動バックアップ)	49
ドメインの追加	51
サブドメインの作成	51
サブドメインの削除	53
DNS 切り替え	54
WordPress Toolkit の利用	55
phpMyAdmin のアクセス	62
アクセスログの取得	63
パスワード保護ディレクトリ (BASIC 認証) の利用	65
スパムメールの振り分け	68
SSH 接続用の公開鍵登録	69

はじめに

本ガイドは、「FutureWeb Pro/VPS」をご利用のユーザー様向けのスタートアップガイドとなります。

「FutureWeb Pro/VPS」は、フルマネージドサービスを特長とした専用サーバー、仮想専用サーバーサービスです。本ガイドでは、主に「FutureWeb Pro/VPS」のサーバーコントロールパネルである『Plesk』の利用方法を説明しておりますが、フルマネージドサービスをより快適にご利用いただくために、『Plesk』の機能を一部制限、変更しております。

そのため、Plesk の公式マニュアルの内容と一部異なる部分がございますので、予めご了承ください。

また、ご提供しております『Plesk』で、実現が難しい内容につきましては、お気軽にお問い合わせください。

ログイン方法と画面説明

「FutureWeb Pro/VPS」のサーバーコントロールパネルである『Plesk』へのログイン方法と、画面の基本的な説明です。

Plesk へのログイン方法

- まず、納品書をご確認いただき、記載のコントロールパネルの URL にブラウザにてアクセスします。
※ コントロールパネルに SSL 証明書を導入していない場合、ブラウザに警告が表示されます。
なお、警告が表示されている場合でも、暗号化通信は行われています。
- ログイン画面が表示されますので、下記の必要項目を入力します。

The image shows the Plesk login interface. At the top, it says 'plesk web pro edition'. Below this, there are two input fields: 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). The 'パスワード' field has a toggle icon for showing/hiding the password. Below the input fields is a dropdown menu for 'インターフェース言語' (Interface language) set to 'デフォルト' (Default). There is a link for 'パスワードを忘れた場合' (Forgot password). A large blue 'ログイン' (Login) button is at the bottom, with a 'Cookie' link below it.

ユーザ名	納品書記載のコントロールパネルのユーザ ID
パスワード	納品書記載のコントロールパネルのパスワード

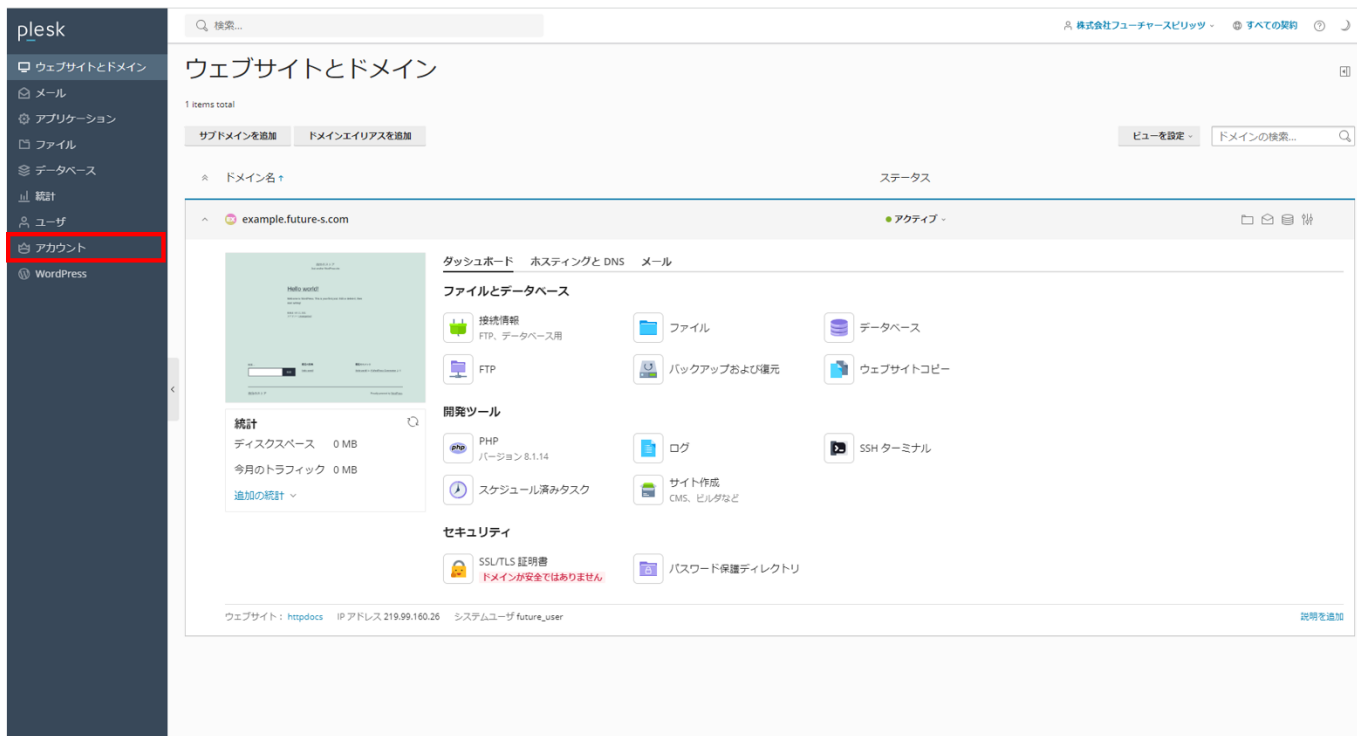
- 「ログイン」ボタンをクリックします。

The image shows the Plesk dashboard after a successful login. The top navigation bar includes a search bar, the company name '株式会社フューチャースピリッツ', and links for 'すべての契約' and a user profile. The left sidebar contains a menu with 'ウェブサイトとドメイン', 'メール', 'アプリケーション', 'ファイル', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The main content area is titled 'ウェブサイトとドメイン' and shows a list of domains. The selected domain 'example.future-s.com' is highlighted, showing its status as 'アクティブ'. Below this, there are several sections: 'ダッシュボード' (Dashboard) with a 'Hello world!' message, 'ファイルとデータベース' (Files and Databases) with options for '接続情報' (Connection info), 'FTP', 'データベース', 'バックアップおよび復元', and 'ウェブサイトコピー'; '開発ツール' (Development tools) with 'PHP' (version 8.1.14), 'スケジュール済みタスク', 'ログ', 'サイト作成' (CMS, Joomla, etc.), and 'SSH ターミナル'; and 'セキュリティ' (Security) with 'SSL/TLS 証明書' (warning: 'ドメインが安全ではありません') and 'パスワード保護ディレクトリ'. At the bottom, it shows the website URL 'httpdocs', IP address '219.99.160.26', and the system user 'future_user'.

- 上記ページが表示されれば、ログインは成功です。

ログイン情報の変更方法(パスワード)

1. Plesk にログインして、「アカウント」をクリックします。



2. 「マイ・プロフィール」をクリックします。



3. マイ・プロフィール画面が表示されますので、下記の必要項目を入力します。

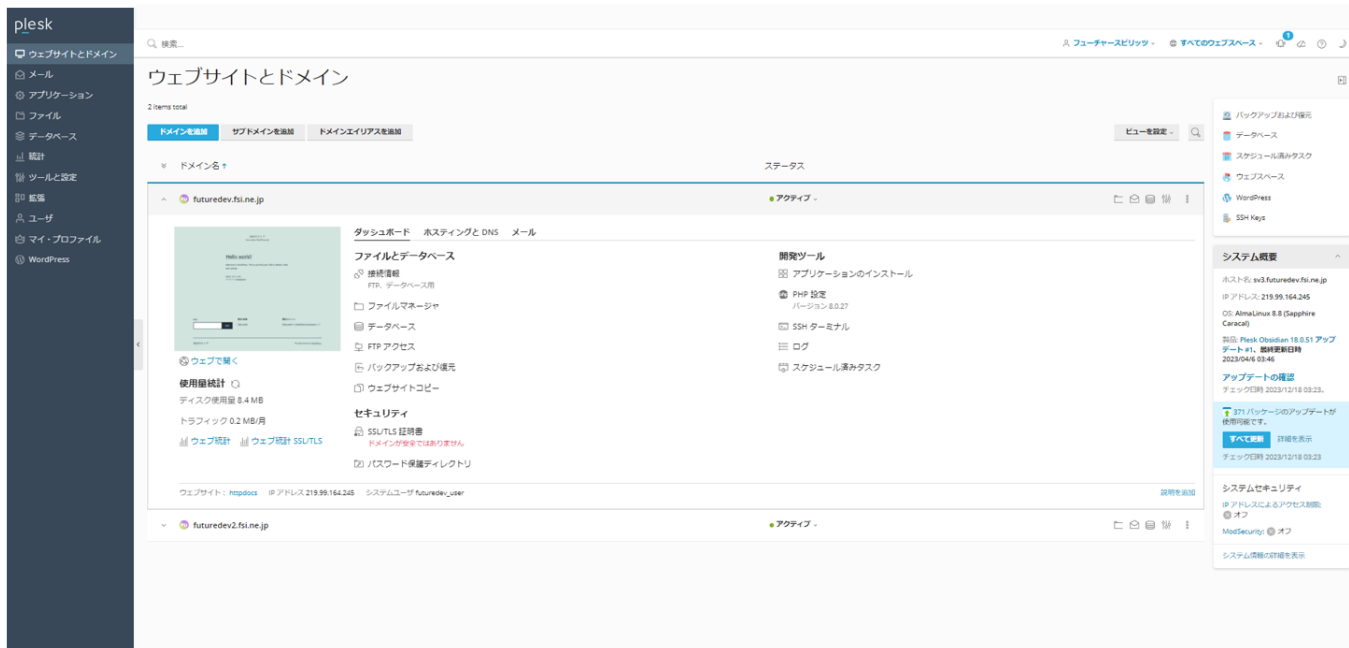
パスワード	新しく設定したいパスワード
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード

4. 「OK」ボタンをクリックします。

5. 上記ページが表示されれば、変更は完了です。

ログイン後の画面説明

各メニューを説明します。



左ナビゲーションメニュー

ウェブサイトとドメイン	メイン画面です。サイトの運用に必要な機能は、この画面のアイコンをクリックして操作します。
メール	メールアカウントの追加など、メールに関する設定を行います。
アプリケーション	この機能を利用すると WordPress を数クリックでインストール可能です。
ファイル	ファイルマネージャで、ディレクトリごとのファイルの確認やファイルのアップロードなどが可能です。
データベース	データベースの追加やデータベースユーザの追加、データベース管理ツールの起動などを行います。
統計	各種統計情報が参照可能です。
ユーザ	Plesk を利用するユーザの追加、管理を行います。
アカウント	アカウントのパスワード変更や、その他アカウント情報の確認が可能です。
WordPress	WordPress Toolkit を使って WordPress サイトの一括管理を行います。

右ナビゲーションメニュー

バックアップおよび復元	ご利用のサーバー内へのバックアップや復元が可能です。
データベース	データベースの追加やデータベースユーザの追加、データベース管理や操作などを行います。
スケジュール済みタスク	ユーザ権限での定期実行タスク(クローン)の設定を行います。
WordPress	WordPress Toolkit を使って WordPress サイトの一括管理を行います。
SSH Keys	ssh 接続用の公開鍵をアップロードすることが可能です。

サイトを公開する

サイトを一般に公開するために、必要な作業を説明します。

データのアップロード方法

サーバーにサイト用のデータをアップロードします。

大きく、2 種類の方法を説明します。

※FTP ソフトは WinSCP を例として説明します。

FTP ソフトを利用したアップロード

■WinSCP のダウンロード

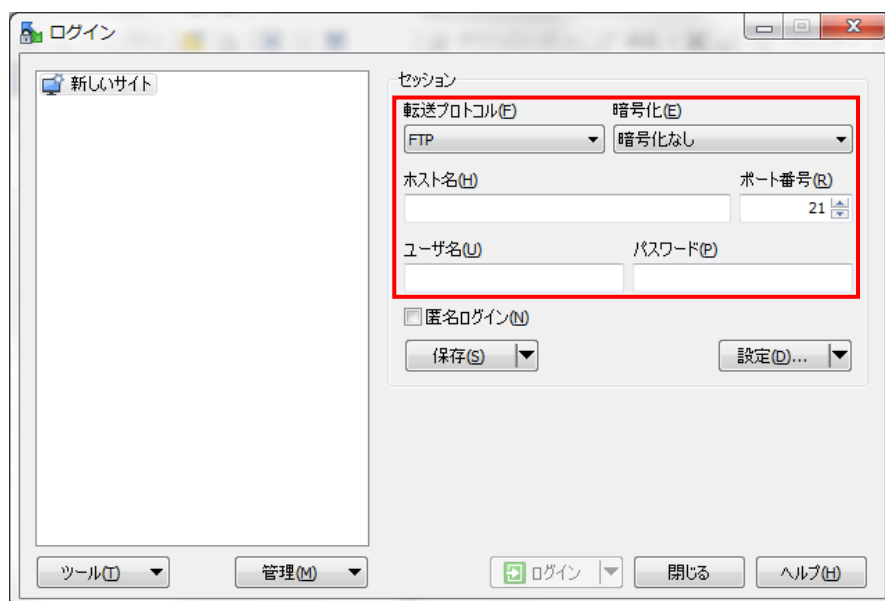
<https://winscp.net/eng/download.php>

※上記サイトより最新版をダウンロードして、インストールを行ってください。

※WinSCP の詳細な利用方法は、開発元にお問い合わせください。

■WinSCP の設定方法

1. WinSCP を起動してください。
2. 起動時に「ログイン」画面が表示されます。下記の必要項目を入力して「保存」ボタン、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



転送プロトコル	FTP を選択してください。
暗号化	FTP 接続を行う場合は「暗号化なし」 FTPS 接続を行う場合は「暗黙の TLS/SSL 暗号化」もしくは 「明示的な TLS/SSL 暗号化」を選択してください。
ホスト名	納品書に記載されたミドルウェア アカウント「ホスト名」を入力してください。 ※ドメイン移管の場合などで、ドメイン名でアクセス出来ない場合は、納品書に記載された IP アドレスを入力してください。
ユーザ名	納品書に記載された FTP アカウント名を入力してください。
パスワード	納品書に記載された FTP パスワードを入力してください。

※ 当社サーバーでは通常の FTP 接続と FTPS という暗号化方式を標準で利用いただけますが、セキュリティ上の観点より FTPS での接続をお勧めしております。

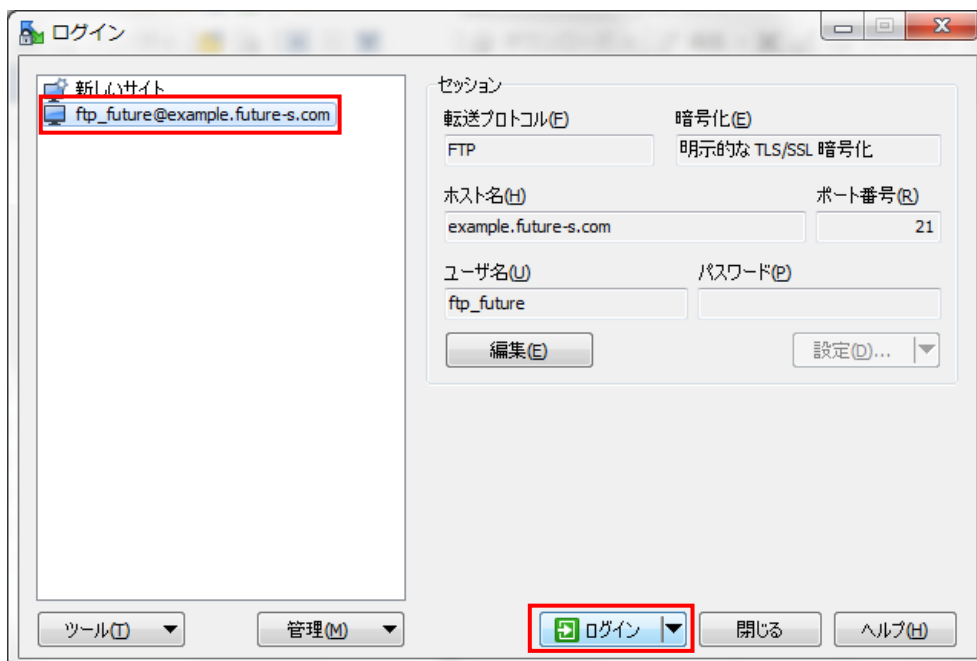
3. 保存時に「セッションの保存名」画面が表示されます。下記の必要項目を入力してください。

セッションの保存名	ドメイン名などの識別しやすい任意の名前を設定してください。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合、チェックをいれる
デスクトップにショートカットを作成	デスクトップにショートカットを作成する場合は、チェックをいれる

4. 「OK」ボタンをクリックすれば「WinSCP」の設定は完了です。

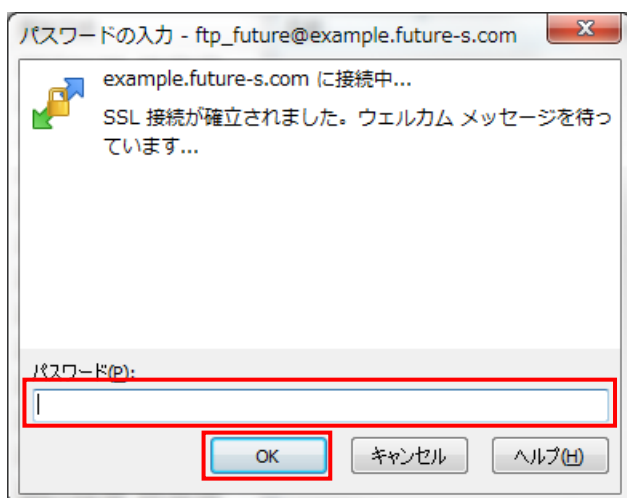
■WinSCP を利用したファイルのアップロード方法

1. WinSCP を起動して、「ホスト一覧」から接続したいサーバーを選択して「ログイン」をクリックします。

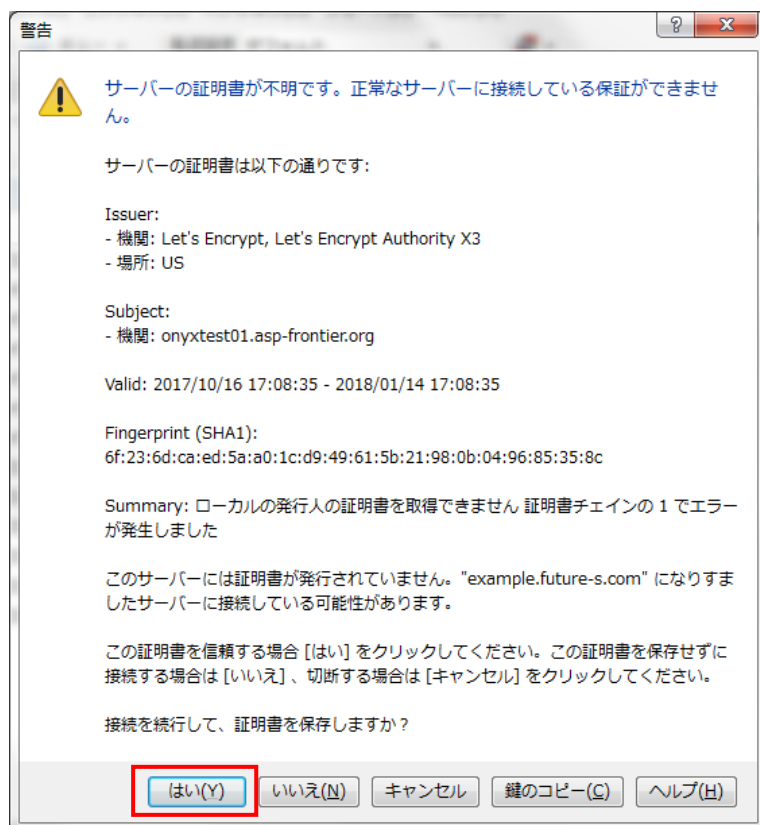


2. パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力してください。

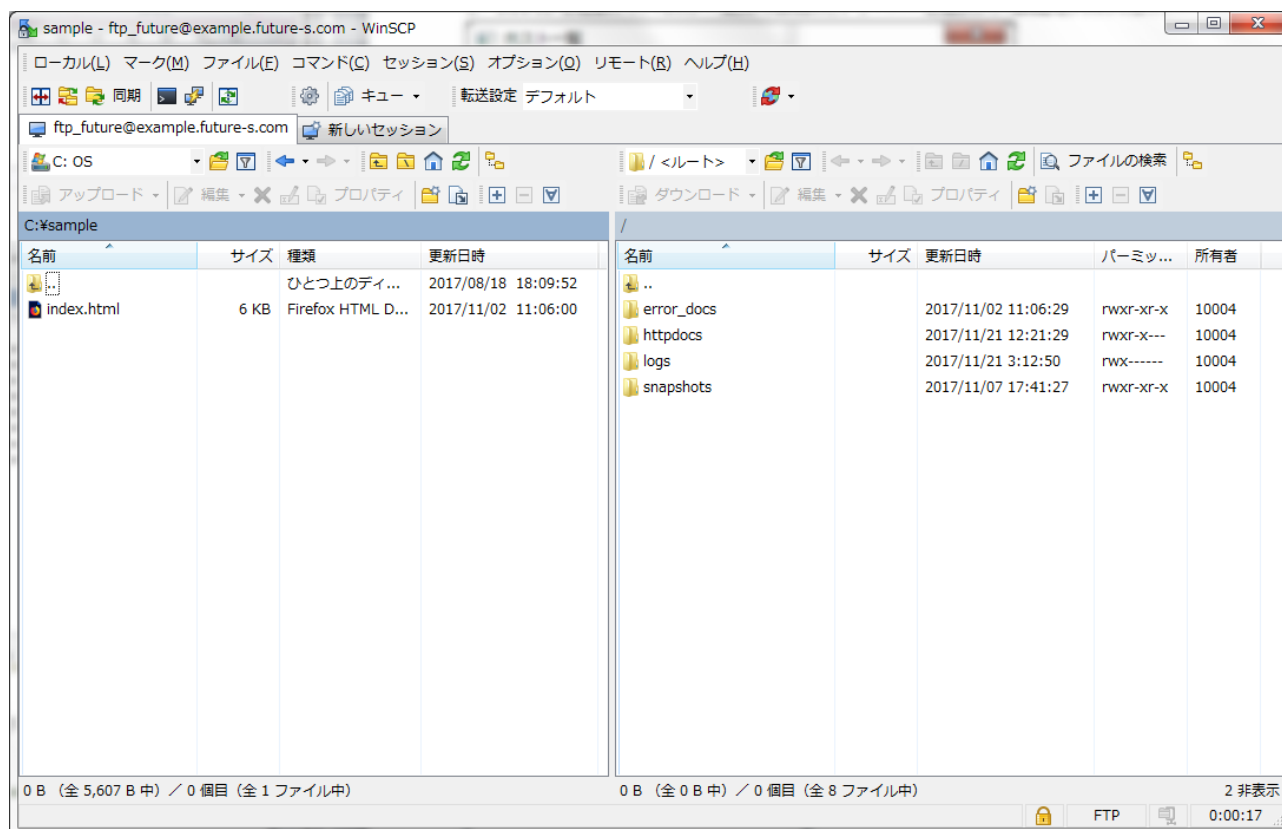
※パスワードを保存にチェックを入れている場合は表示されません。



3. 暗号化通信に関する確認画面が表示されるので「はい」をクリックします。

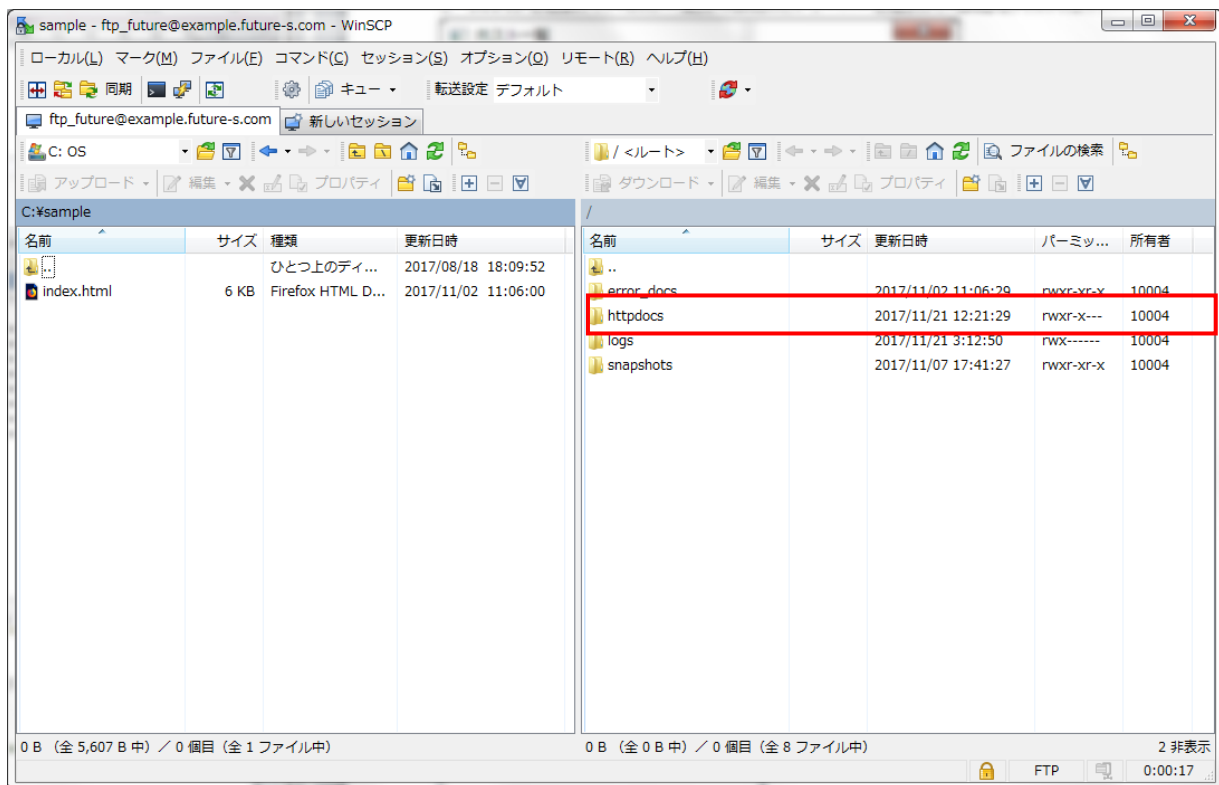


4. 接続が完了すると、下図のように画面が表示されます。

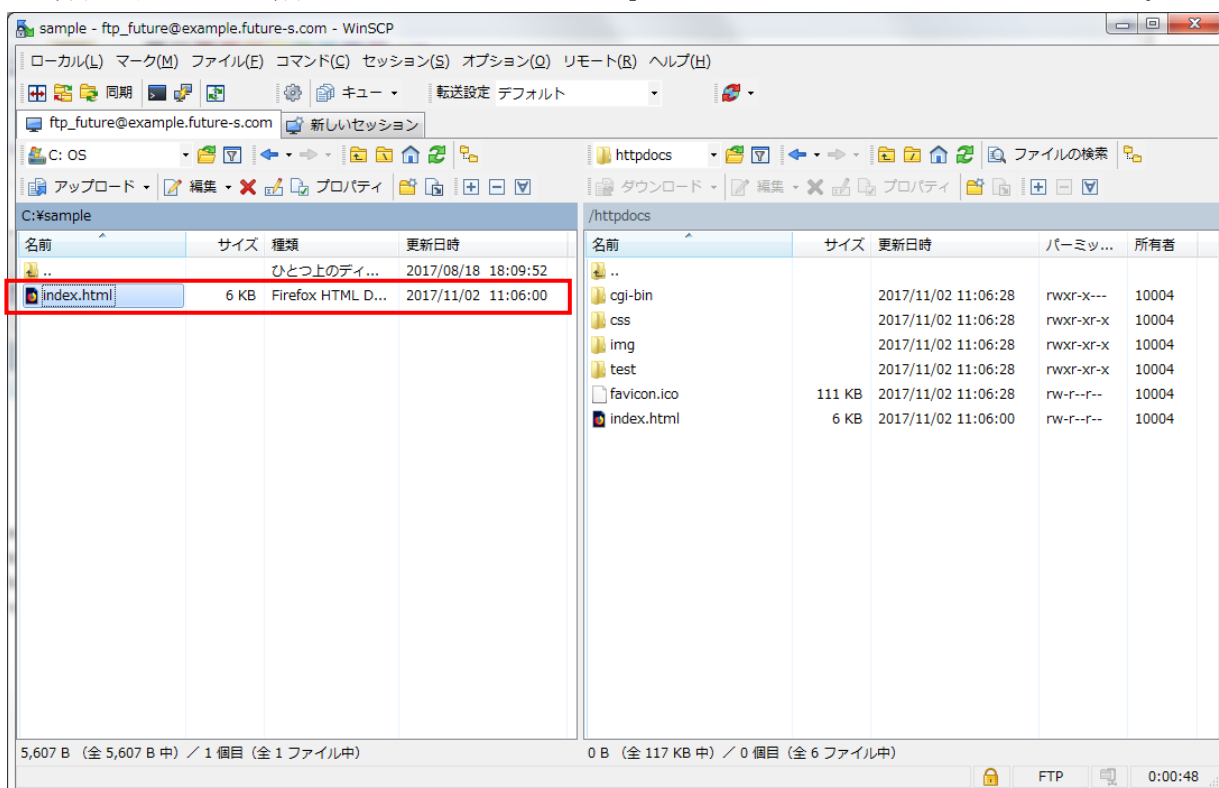


- ※ 分割された画面の左側がお客様のパソコン、右側がフューチャースピリッツのサーバーとなります。
- ※ サイト用のデータはサーバー側の「httpdocs」フォルダ内にアップロードします。

5. サーバー側の「httpdocs」フォルダをダブルクリックして、サーバー側のフォルダを開きます。



6. 分割画面左側のお客様パソコンにある「index.html」をサーバー側にドラック&ドロップしてください。



※ 「httpdocs」内に標準で存在するファイルやフォルダは、削除して頂いて構いません。

7. 同様にして、サイトに必要なデータをアップロードしてください。

ファイルマネージャを利用したアップロード

ファイルマネージャとは、Plesk の機能の一つである、ファイル管理ツールです。

この機能を利用することで、FTP ソフトを利用せずに、Web ブラウザ経由でサーバーへアップロードすることが可能です。

■ファイルマネージャを利用したファイルのアップロード方法

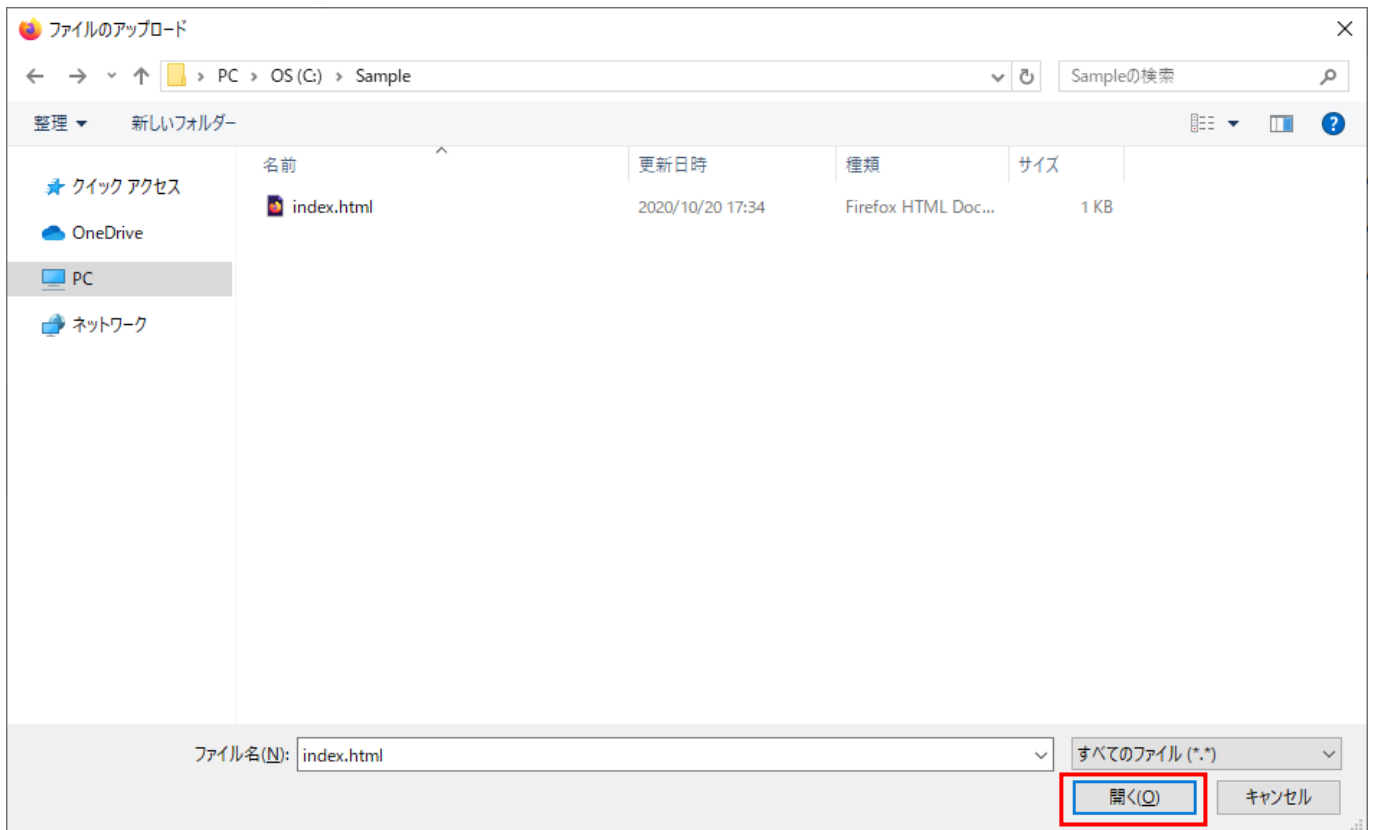
1. Plesk にログインして、左メニューの「ファイル」をクリックします。



2. ファイルをアップロードしたいフォルダ名をクリックし、プラスボタンからプルダウンメニュー内の「ファイルをアップロード」をクリックします。(ドラッグ&ドロップでもアップロード可能です)



3. アップロードするファイルを選択します。



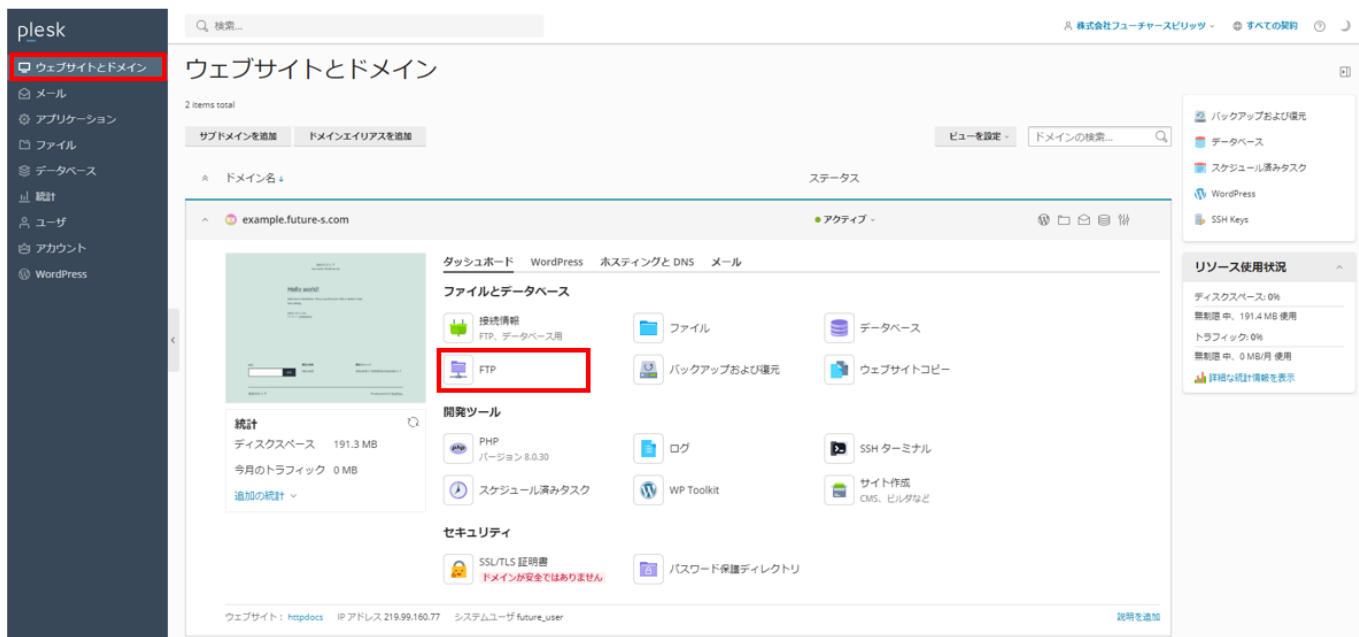
4. 「開く」をクリックすると、選択したファイルがサーバーにアップロードされます。

FTP アカウントの管理

FTP アカウントのアカウント名やパスワードは Plesk から変更することが可能です。
また、FTP アカウントの追加や削除も Plesk から行うことができます。

FTP アカウントのユーザ名/パスワード変更

1. Plesk にログインして、「FTP」をクリックします。



2. パスワードを変更する FTP アカウントをクリックします。



3. ホスティング設定の画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

ホスティング設定
example.future-s.com

ツール: AWStats

☒ ウェブ統計へのアクセスを FTP ユーザーとパスワードで保護する

ウェブスクリプティング
ウェブサーバで転送すべきプログラミング言語とスクリプティング言語を選択します。

☒ FastCGI
☒ CGI
☒ SSI
☒ カスタムエラードキュメント

ドメイン設定

- ホスティングタイプ
- SSL/TLS サポート
- ウェブ統計
- ウェブスクリプティング

ウェブスペース設定

- システムユーザのクレデンシャル
- SSH アクセス
- IP アドレス
- ディスク容量クォータ

ウェブスペース設定

システムユーザのクレデンシャル
FTP またはファイルマネージャ経由でウェブサイトのファイルとフォルダを管理します。許可される場合、SSH 経由でサーバにアクセスします。

ユーザ名: future_user

パスワード: Generate

システムユーザのパスワードを変更するには、ここに新しいパスワードを指定します。

SSH アクセス

タイプ: /bin/bash

IP アドレス

IP アドレス: 219.99.160.26

保存 キャンセル

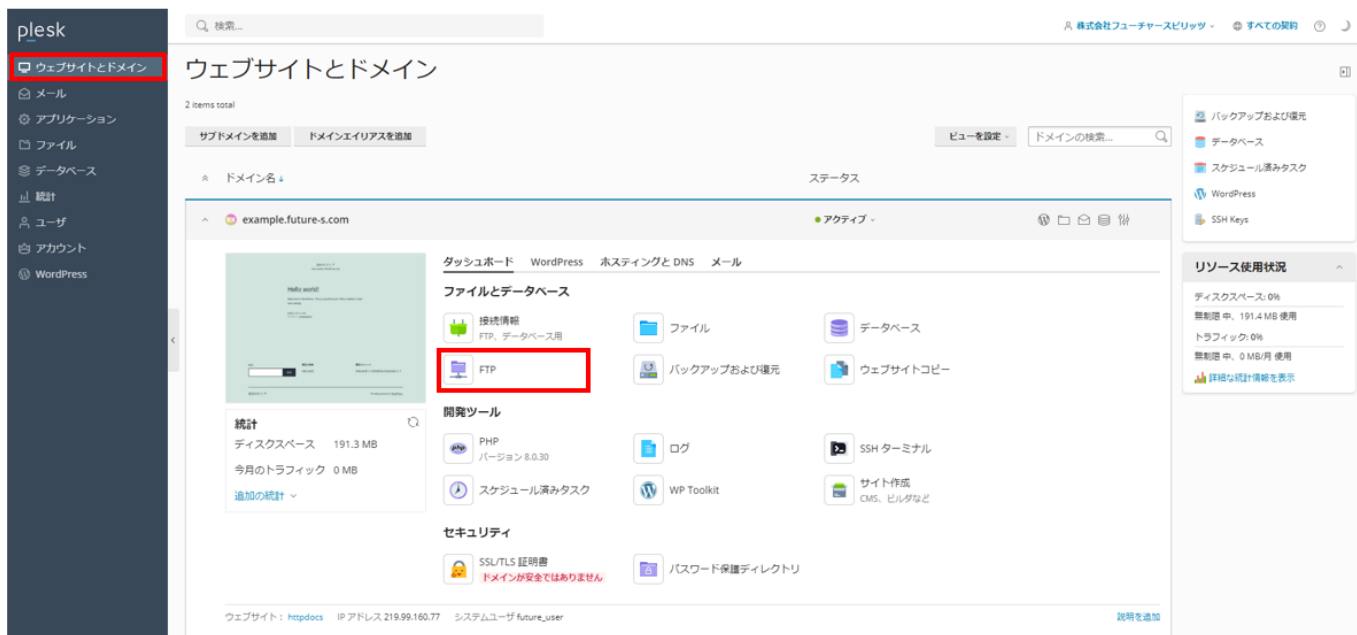
ユーザ名	新しく設定したい FTP アカウント名
パスワード	新しく設定したいパスワード

4. 「保存」をクリックすると変更が完了します。

FTP アカウントの管理・追加・削除

■ FTP アカウントの追加方法

1. Plesk にログインして、「FTP」をクリックします。



2. FTP アカウントの一覧が表示されます。

3. 「FTP アカウントを追加」をクリックします。



4. FTP アカウント追加の画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

FTP アカウント名	追加したい FTP アカウント名
ホームディレクトリ	設定したいホームディレクトリ
パスワード	新しく設定したいパスワード
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード

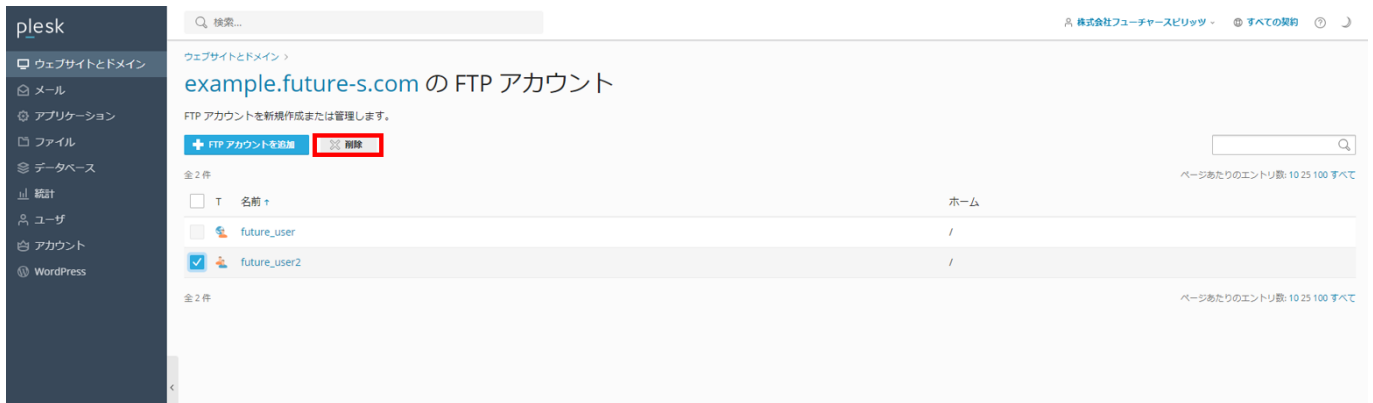
5. 「OK」をクリックすると追加が完了します。

■FTP アカウントの削除方法

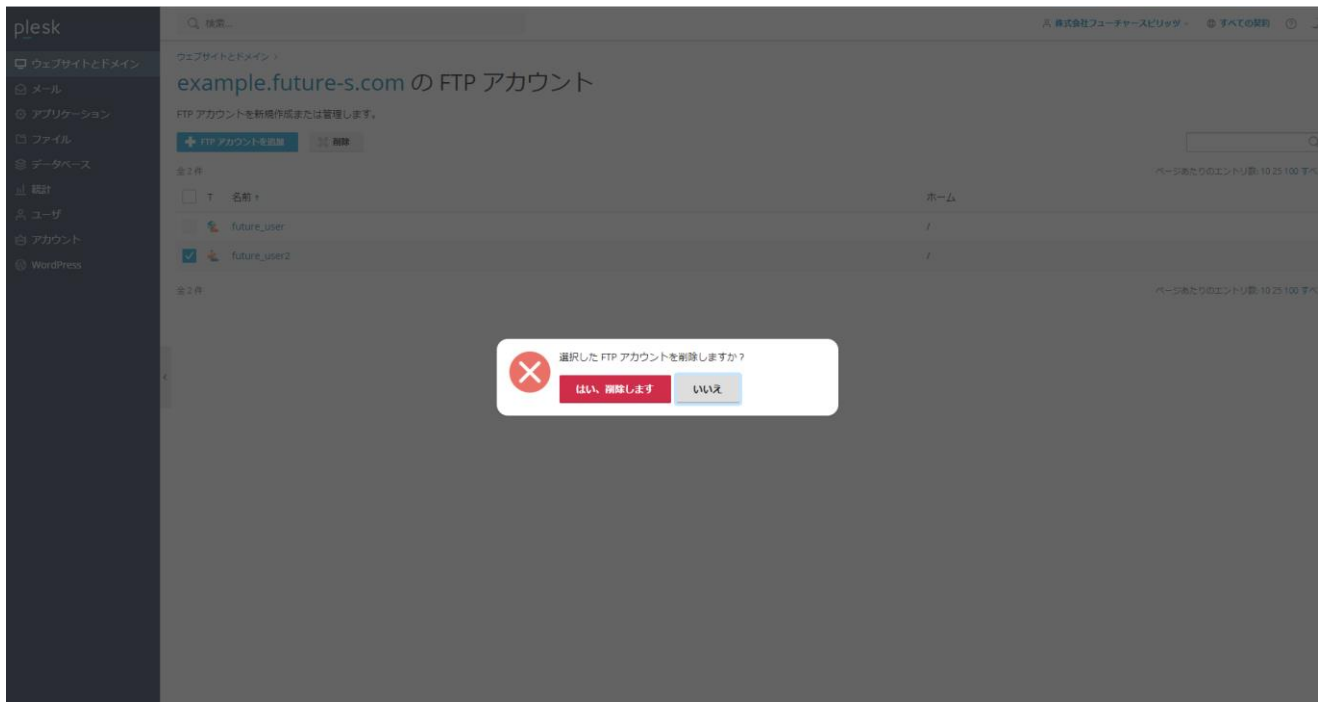
1. Plesk にログインして、「FTP」をクリックします。



2. 削除を行いたい FTP アカウントのチェックボックスにチェックを入れて、「削除」をクリックします。



3. 確認画面が表示されますので、「はい、削除します」をクリックします。これで **FTP** アカウントの削除が完了です。



データベースの作成 (MySQL)

1. Plesk にログインして、「データベース」をクリックします。



2. 「データベースを追加」をクリックします。



3. データベース追加の画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

データベース名	追加したいデータベース名	
関連サイト	デフォルトでは設定不要です。多数のデータベースがある場合、データベースページより参照できる機能です。	
データベースユーザ名	追加したデータベースにアクセスできるユーザ名	
パスワード	新しく設定したいパスワード	
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード	
アクセス制御 ※1	ローカル接続のみを許可	ローカル接続のみを許可する場合に選択します。
	任意のホストからのリモート接続を許可	ローカル接続および任意のサーバからのアクセスを許可する場合に選択します。
	以下からのリモートの接続を許可	指定したホスト名または IP アドレスからのアクセスを許可する場合に選択します。ローカル接続も許可されます。

※1 基本的にはデフォルトで問題ございません。

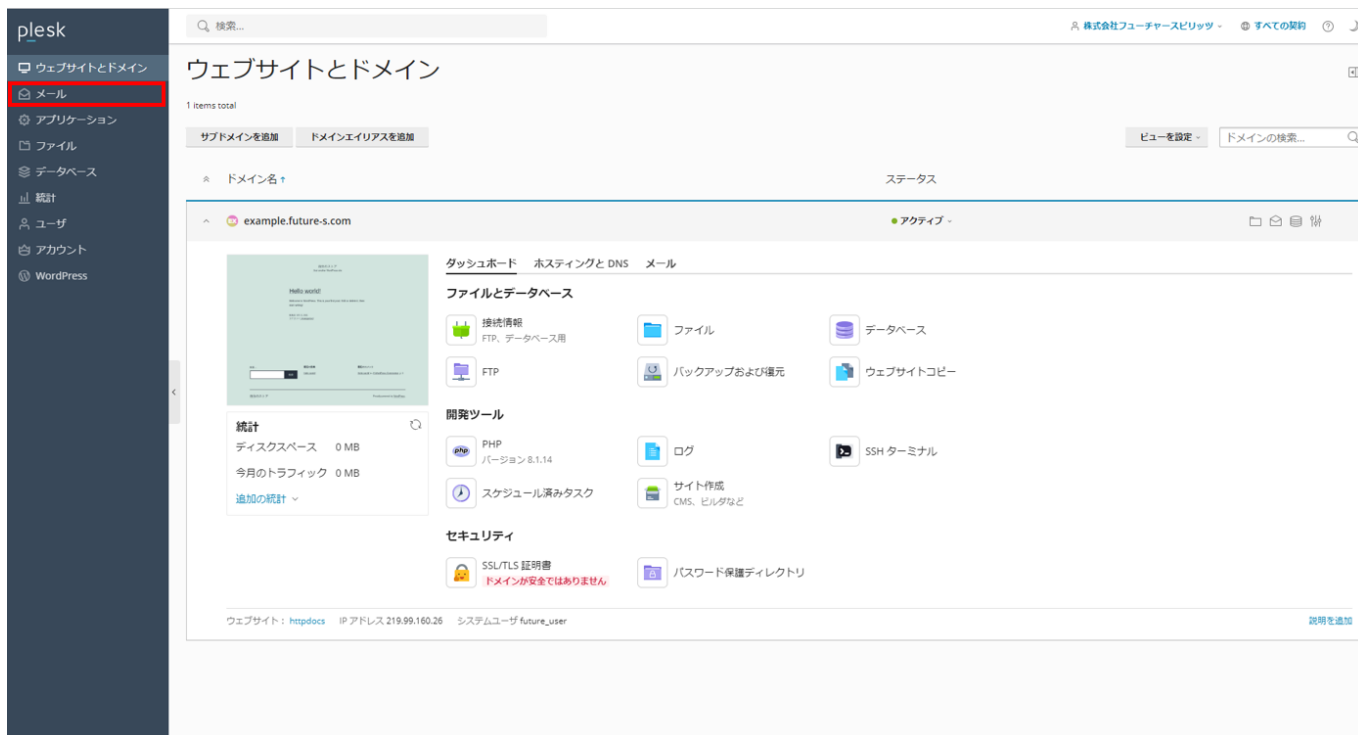
4. 「OK」をクリックするとデータベースの作成が完了します。

メールを利用する

メールを利用するために、必要な作業を説明します。

メールアカウント作成

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. 「メールアドレスを作成」をクリックします。



3. メールアドレス作成の画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

メールアドレス	新規作成したいメールアドレス
Plesk へのログインに使用可能	チェックボックスを入れることで、Plesk ユーザも作成される (チェックを入れない場合でもメールアドレスの作成自体は可能です)
パスワード	新しく設定したいパスワード
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード

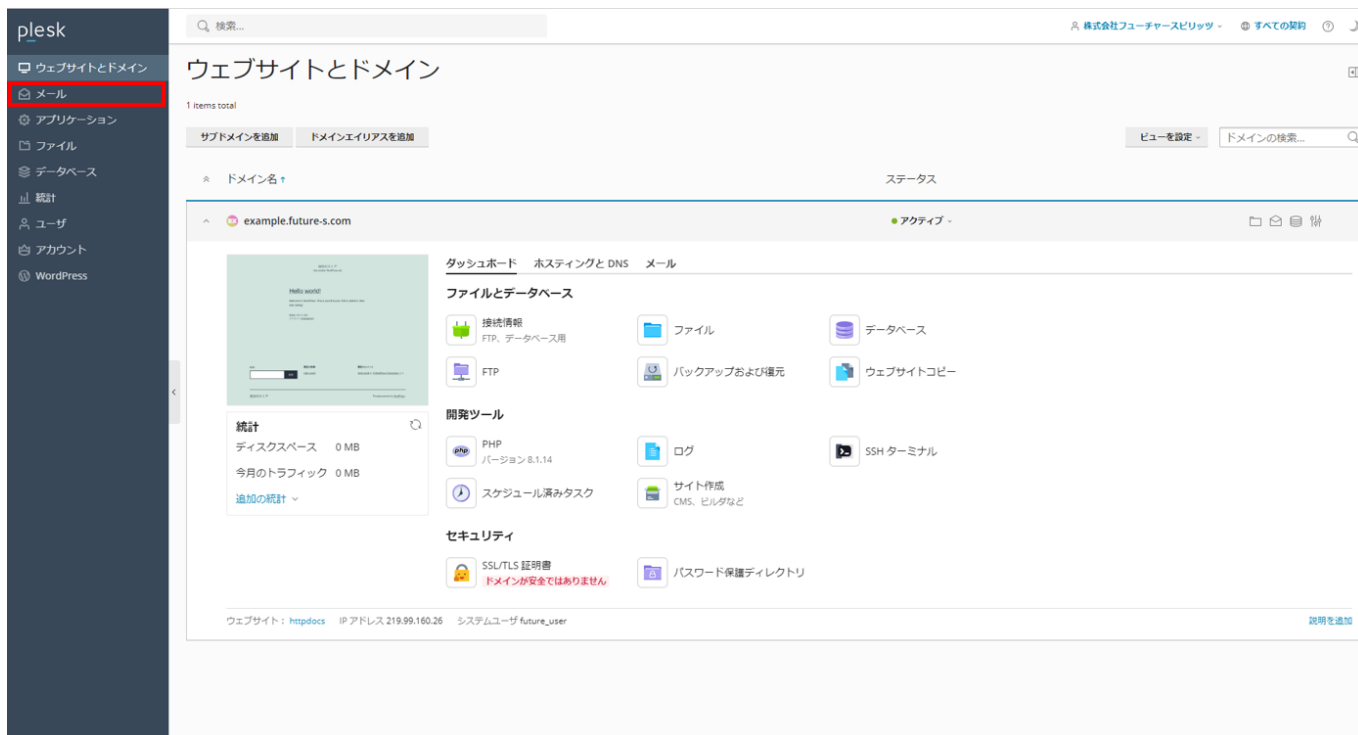
※メールボックスのサイズ制限はデフォルトでは無制限に設定されます。「別のサイズ」項目をご選択いただくことで任意の値を設定いただけます。

※メールボックスのチェックを外した場合でもメールアカウントの作成は可能ですが、弊社サーバーにはメールデータが保存されません。メール転送用または送信用のメールアカウントを作成される場合に利用することがあります。

4. 「OK」をクリックするとメールアカウントの作成が完了します。

メールアカウントのパスワード変更

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. パスワードを変更するメールアドレスをクリックします。



3. メールアドレス設定の画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

testfuture@example.future-s.com

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ

このメールアドレスに追加ユーザが紐付けられている（顧客/パネルへのアクセスが有効である）場合、このページで行った変更が当該ユーザの設定にも適用されます。例えばメールアドレスとパスワードを変更すると、追加ユーザのログイン名とパスワードが新しい値に変わります。

メールアドレス* testfuture@example.future-s.com

☒ Plesk へのログインに使用可能（ユーザ名：testfuture@example.future-s.com）

外部のメールアドレス

パスワード

生成 表示する

パスワードの確認

☒ メールボックス

デフォルトサイズ（無制限）

別のサイズ 0 KB

Plesk での説明

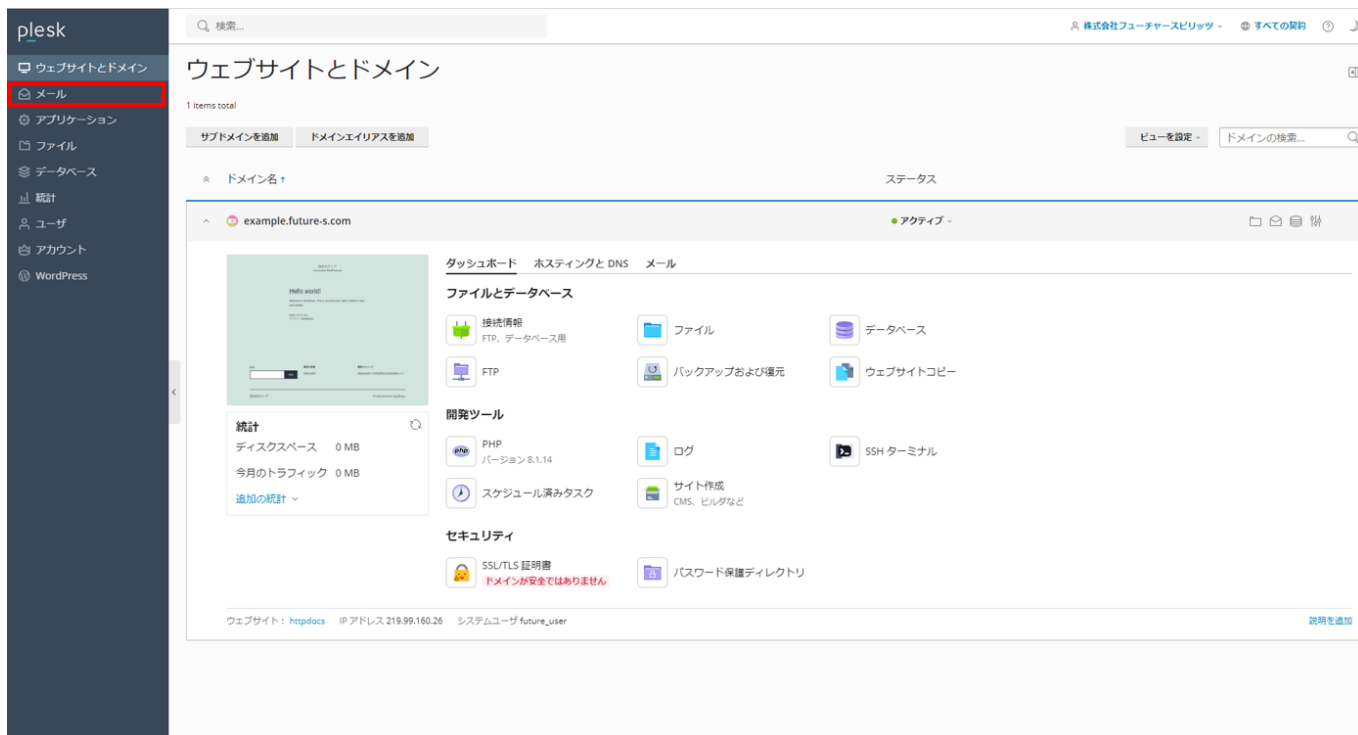
OK 適用する キャンセル

パスワード	新しく設定したいパスワード
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード

4. 「OK」をクリックすると変更が完了します。

転送

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. 転送設定をしたいメールアドレスをクリックします。



- 「転送」タブをクリックします。
- 転送の設定画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

メール > メールアドレス >

test02@futuredev.fsi.ne.jp

全般 **転送** メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ

1 つ以上のメールアドレスへのメールメッセージの転送をセットアップします。

☐ メール転送をオンにする

☐ 転送されたメールのコピーを Plesk メールボックスに配信しない

受信メールを次のメールアドレスに転送

メールアドレスを指定してください。複数のアドレスを入力する場合は、改行、スペース、コンマ、またはセミコロンで区切ります。

* 必須フィールド

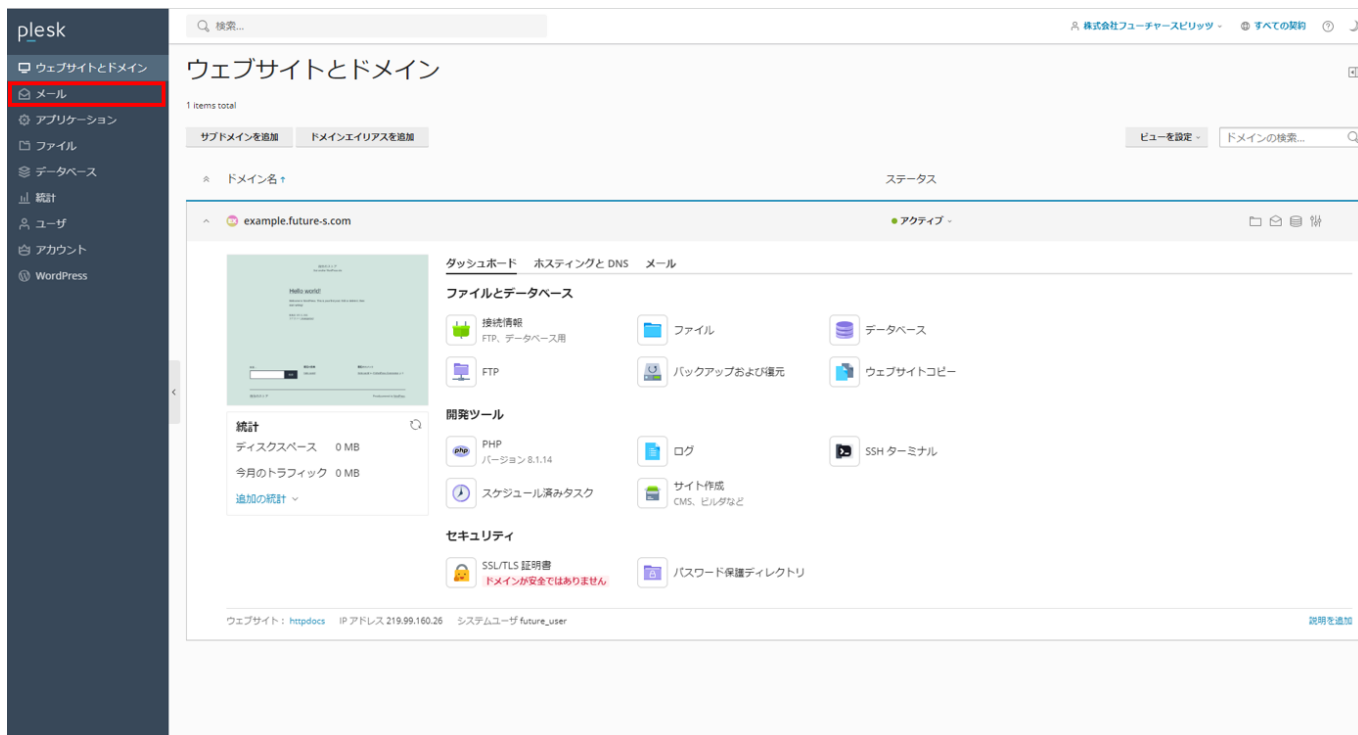
OK 適用する キャンセル

メール転送をオンにする	有効にする場合は、チェックを入れる。
転送されたメールのコピーを Plesk メールボックスに配信しない	転送専用メールアドレスとしてご利用する場合はチェックを入れる。
受信メールを次のメールアドレスに転送	転送先のメールアドレス

- 「OK」をクリックすると転送設定が完了します。

メールエイリアス

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. メールエイリアスを設定したいメールアドレスをクリックします。



3. 「メールエイリアス」タブをクリックします。
4. メールエイリアスに追加する名前を入力します。

The screenshot displays the Plesk control panel interface for configuring an email alias. The left sidebar shows the 'メール' (Mail) section selected. The main content area shows the configuration for the email alias 'testfuture@example.future-s.com'. The 'メールエイリアス' (Email Alias) tab is selected and highlighted with a red box. Below the tab, a text input field for the alias name is highlighted with a red box, followed by the domain '@example.future-s.com'. A green plus icon and the text 'メールエイリアスを追加' (Add email alias) are visible below the input field. At the bottom, there are three buttons: 'OK', '適用する' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

5. 「OK」をクリックすると設定が完了します。

自動応答

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. 自動応答を設定したいメールアドレスをクリックします。



- 「自動応答」タブをクリックします。
- 自動応答の設定画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

The screenshot shows the Plesk control panel interface for the domain 'testfuture@example.future-s.com'. The '自動応答' (Auto-reply) tab is selected and highlighted with a red box. The settings include:

- ☐ 自動応答をオンにする (Turn on auto-reply)
- 自動応答メールの件名 * (Auto-reply email subject): Re: <request_subject>
- メッセージ形式 (Message format): ☒ テキスト (Text), ☐ HTML メール (HTML email)
- エンコーディング (Encoding): UTF-8
- 自動応答メールのテキスト (Auto-reply email text): A large text area for composing the reply message.
- 転送先 (Forward to): A field for specifying the email address to forward the reply to.
- 同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数の上限 (1日あたり) * (Maximum number of auto-reply messages per day): 1
- ☐ 指定日に自動応答をオフにする (Turn off auto-reply on specified day): 24 6月 2021

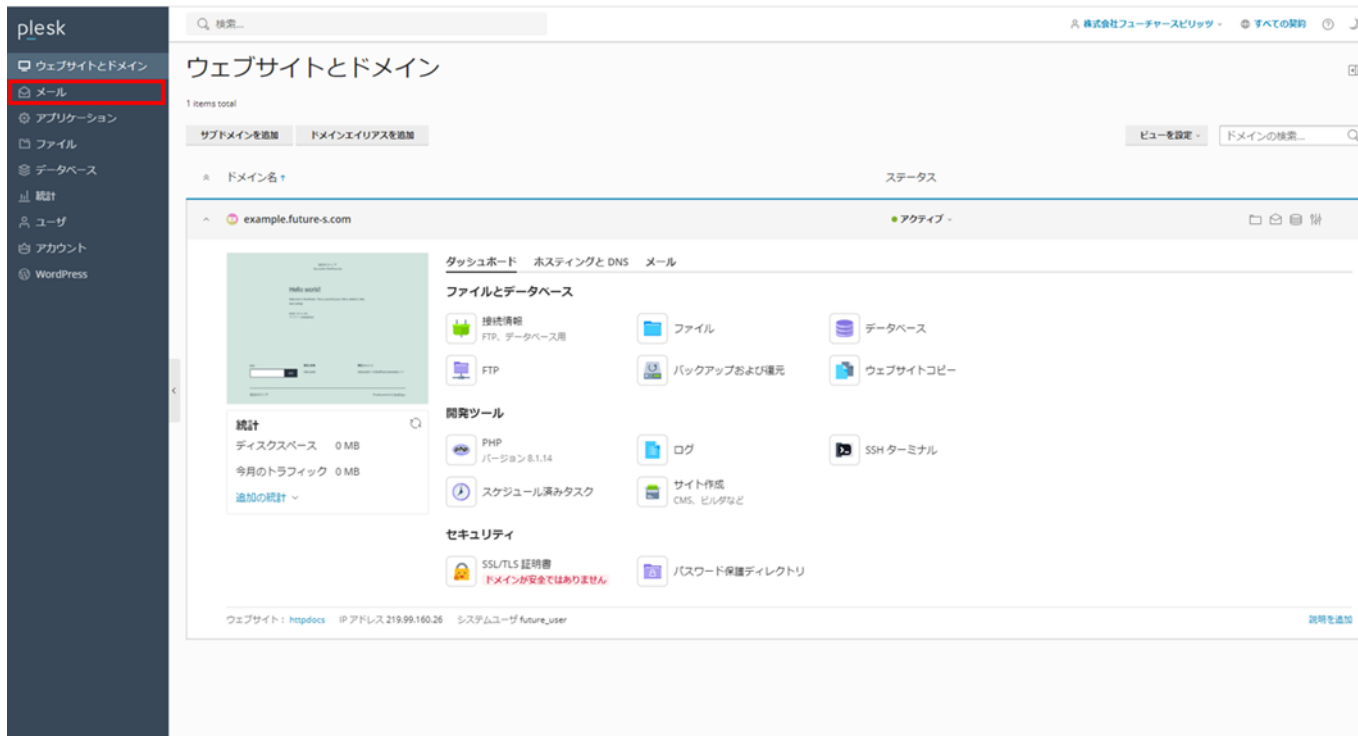
Buttons at the bottom: OK, 適用する (Apply), キャンセル (Cancel).

自動応答をオンにする	有効にする場合は、チェックを入れる。
自動応答メールの件名	自動応答したメールの件名
メッセージ形式	テキストと HTML 形式が選択できます
エンコーディング	エンコーディングを選択します (基本的にはデフォルトで問題ありません)
自動応答メールのテキスト	自動応答したメールの本文
転送先	自動応答の送信時に、ここで指定されたメールアドレスへオリジナルメッセージが転送されます。
同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数の上限	同じ送信元からメールが送られてきた場合の自動応答を返信する回数の上限 (1日あたり)
指定日に自動応答をオフにする	有効にする場合は、チェックを入れて日付を指定する。

- 「OK」をクリックすると設定が完了します。

スパムフィルタの設定

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. スパムフィルタを設定したいメールアドレスをクリックします。



- 「スパムフィルタ」タブをクリックします。
- スパムフィルタの設定画面が表示されますので、「詳細な設定を表示」をクリックし、下記の必要項目を入力してください。

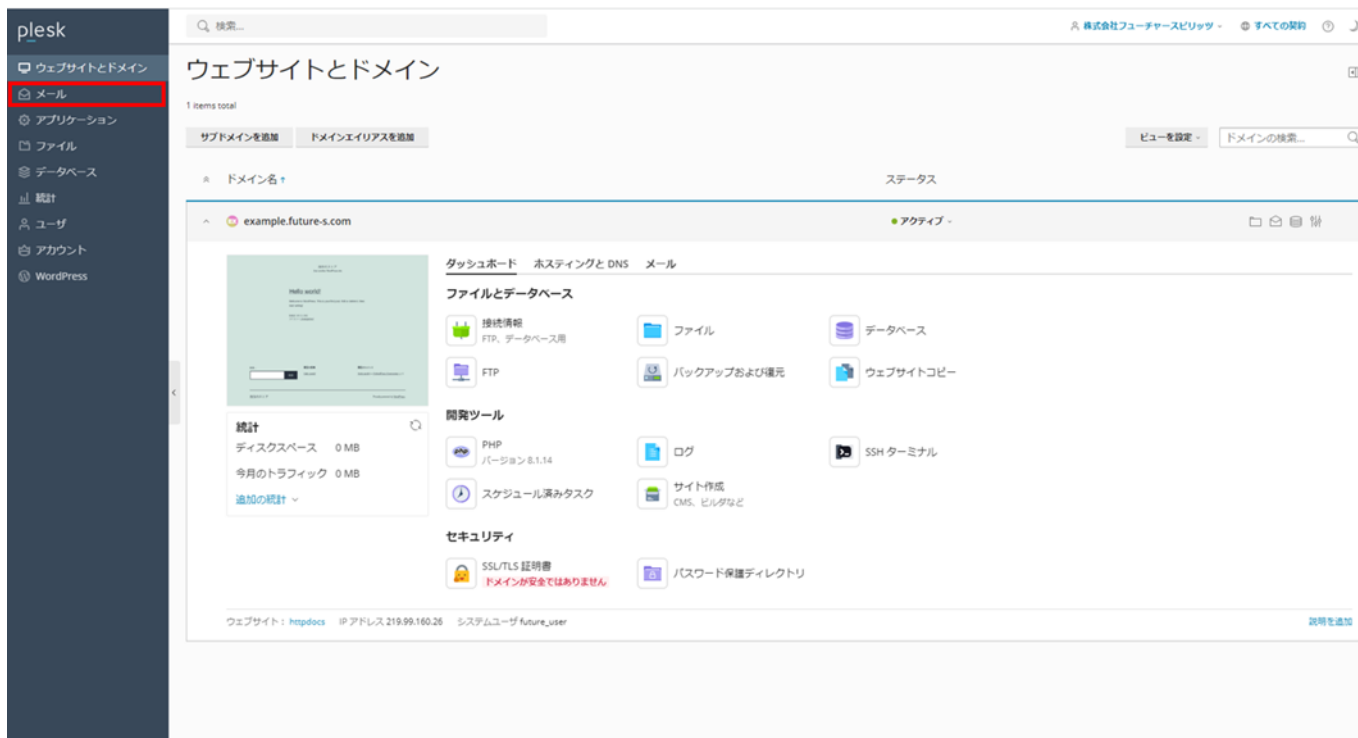
The screenshot shows the Plesk interface for configuring spam filters. The left sidebar has a 'メール' (Email) tab highlighted. The main area shows the 'スパムフィルタ' (Spam Filter) settings for 'testfuture@example.future-s.com'. The 'スパムフィルタ' tab is selected, showing options to enable the filter, add keywords, and set sensitivity. A '詳細な設定を表示' (Show detailed settings) button is highlighted with a red box. Below this, there are sections for 'フィルタ感度' (Filter Sensitivity), 'ホワイトリスト' (Whitelist), and 'ブラックリスト' (Blacklist), each with input fields and instructions.

このメールアドレスに対して スパムフィルタをオンにする	スパムフィルタを有効にする場合は、チェックを入れる。
スパムとして分類されたメッ セージに対する処理	スパムメッセージの件名に指定テキストを追加する場合は、チェックを入れる。また 指定テキストは変更できます。
	スパムメッセージを削除する場合は「スパムメッセージをすべて削除する」にチェッ クを入れる。
	スパムメッセージを削除せず、スパムフォルダに移動する場合は、「スパムをスパム フォルダに移動する」にチェックを入れる。
スパムフィルタの感度	メッセージのポイントが高いほど、スパムである可能性が高くなります。 必要なメールまでスパムメールとして処理されている場合、フィルタ値を大きくしてく ださい。(「8」などが目安です)
ホワイトリスト	ホワイトリストに含まれる送信者からのメールはチェックされません。 アドレスにはワイルドカード(* および ?)を使用できます (例: *@example.future-s.com, test?@*.com)。
ブラックリスト	ブラックリストに含まれる送信者からのメールはブロックされます。 アドレスにはワイルドカード(* および ?)を使用できます (例: *@example.future-s.com, test?@*.com)。

- 「OK」をクリックすると設定が完了します。

ウェブメールの選択

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. 「メール設定」タブをクリックし、対象ドメインをクリックします。



3. 利用したいウェブメールのアプリケーションをプルダウンで選択します。

plesk

ウェブサイトとドメイン

メール

アプリケーション

ファイル

データベース

統計

ユーザ

アカウント

WordPress

検索...

株式会社フューチャースピリッツ

すべての契約

指定アドレスに転送

warning@ml.future-s.com

拒否

ウェブメール

Horde (5.2.23)

ウェブメール用の SSL/TLS 証明書

未選択

メール用の SSL/TLS 証明書

未選択

☒ メール自動検出を有効にする

ナレッジベースで仕組みを確認

* 必須フィールド

OK

適用する

キャンセル

plesk.com

アイデアを提案

Cookie

4. 「OK」をクリックすると設定が完了します。

ウェブメールの使い方

■ Horde の基本的な利用方法

1. Plesk にログインして、左メニューの「メール」をクリックします。



2. 対象メールアドレスの右端にあるウェブメールアイコンをクリックします。



「Horde」ログイン画面が開きますので、ユーザ名を確認します。パスワードを入力後、「Log in」をクリックします。

Username
testfuture@example.future-s.com

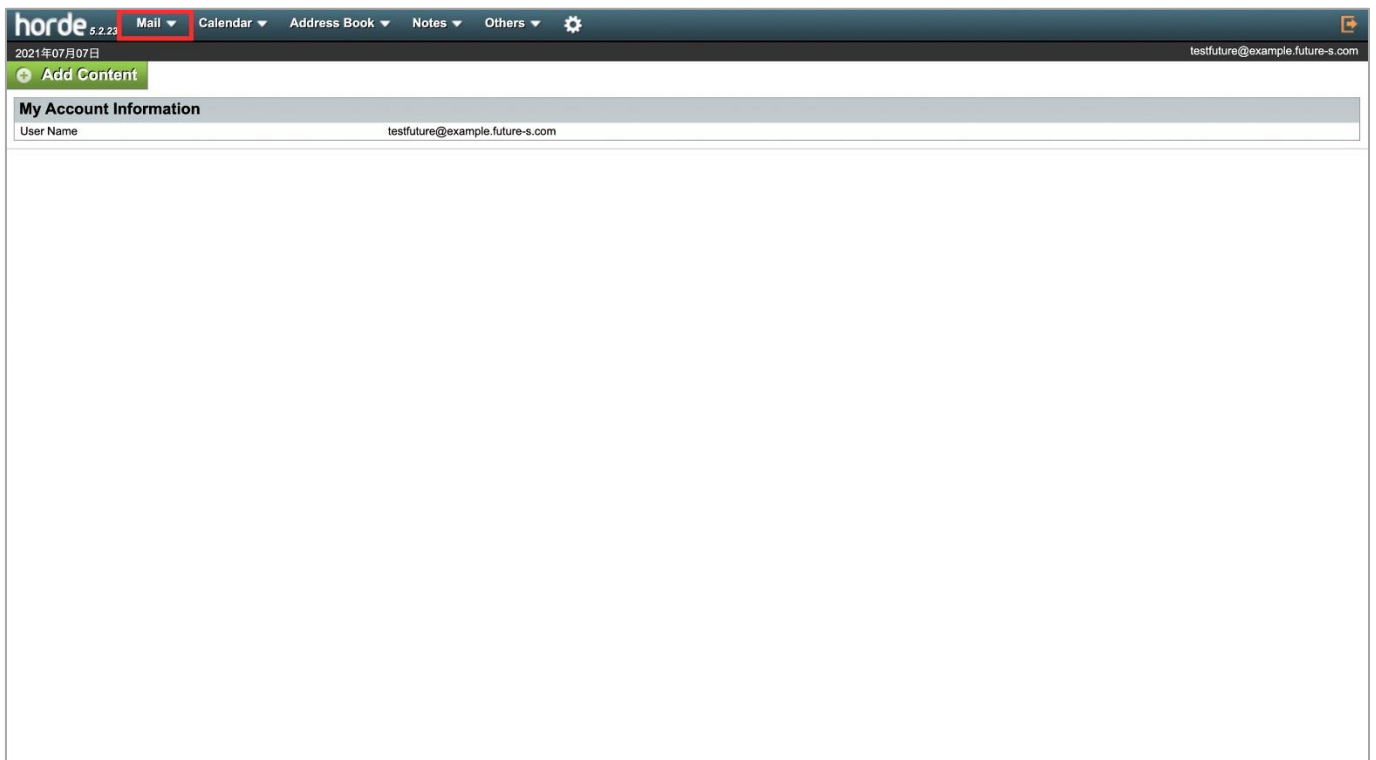
Password
.....

Mode
Automatic ▼

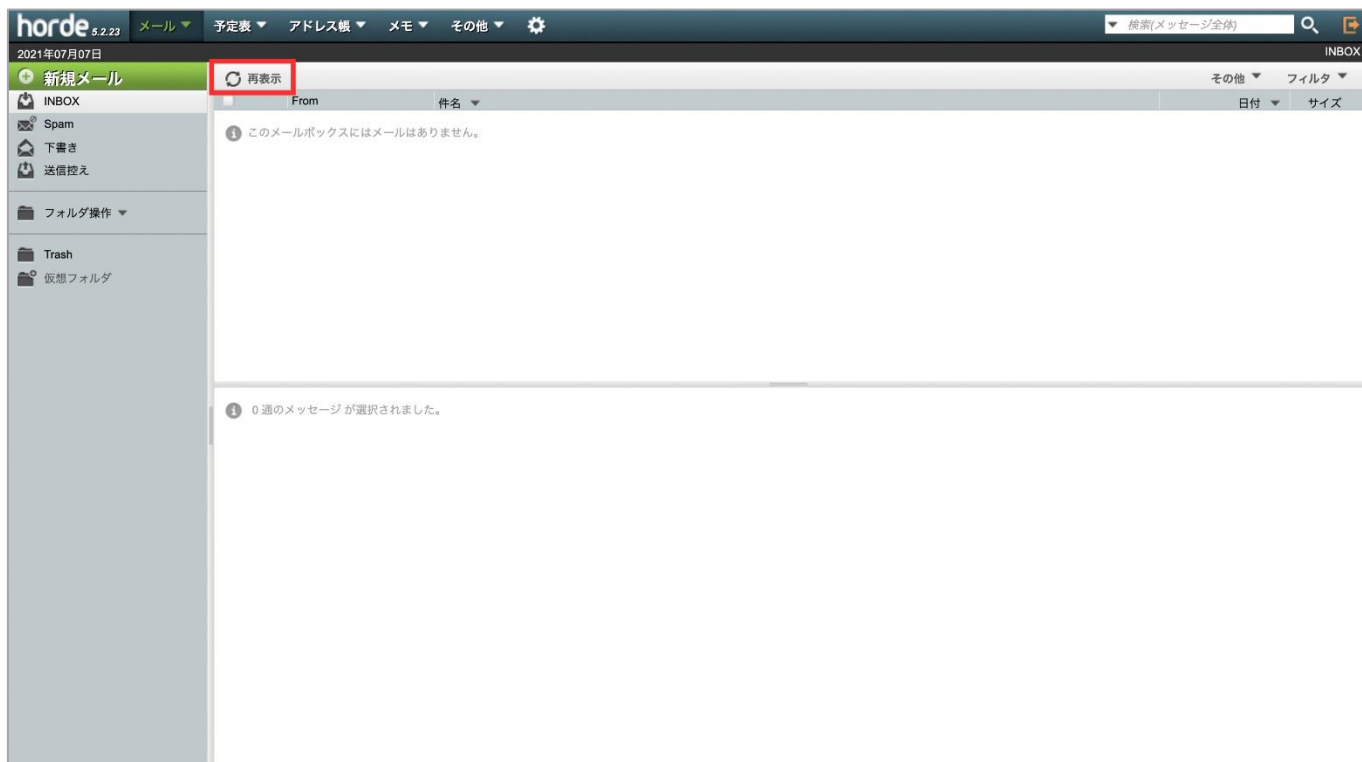
Language
Japanese (日本語) ▼

Log in 

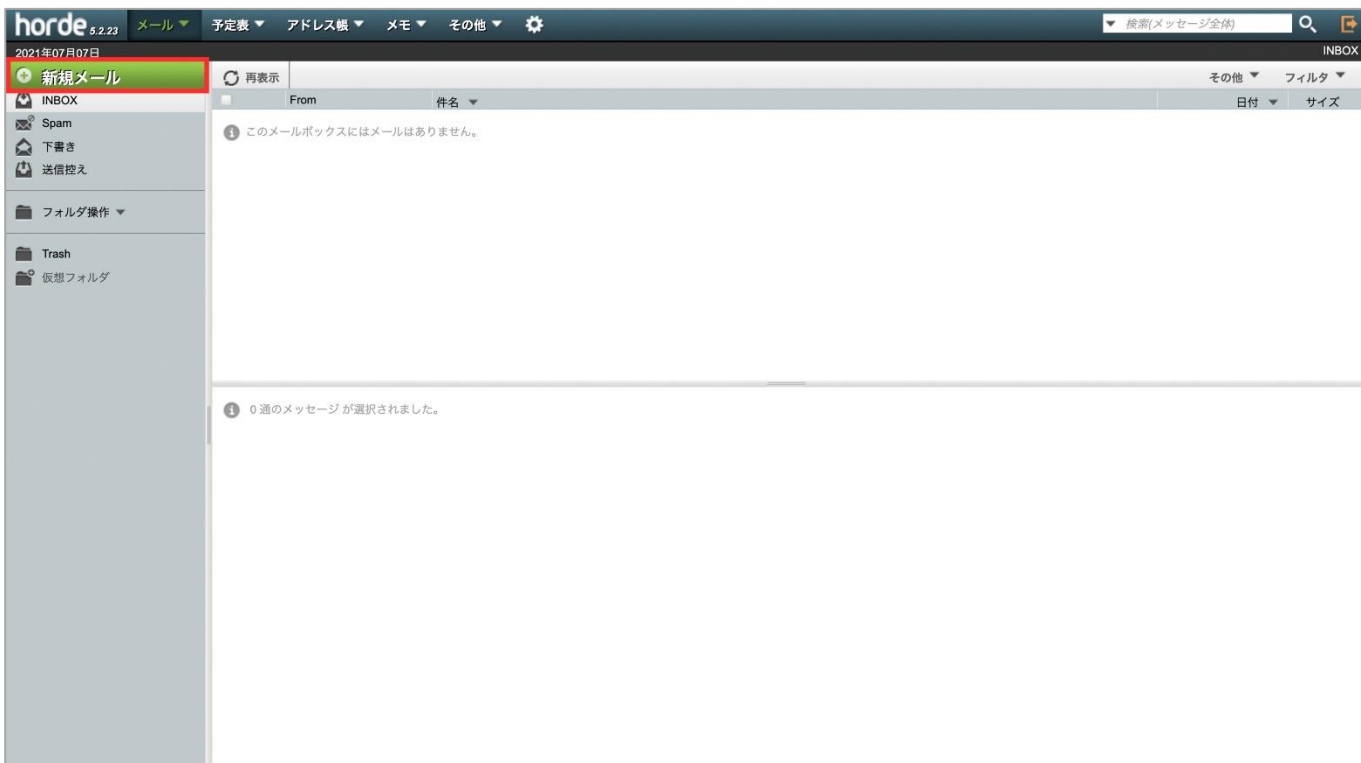
3. 「Mail」タブをクリックします。



4. 新着メールをチェックしたい場合は、「再表示」アイコンをクリックすることで、更新します。
- ログイン時にサーバーにある未読メールが、自動的に受信トレイ (INBOX) に一覧表示されます。
- 対象のメールの件名をクリックすることで、本文が表示されます。



5. 「新規メール」をクリックすると、メッセージ作成の画面が開きます。

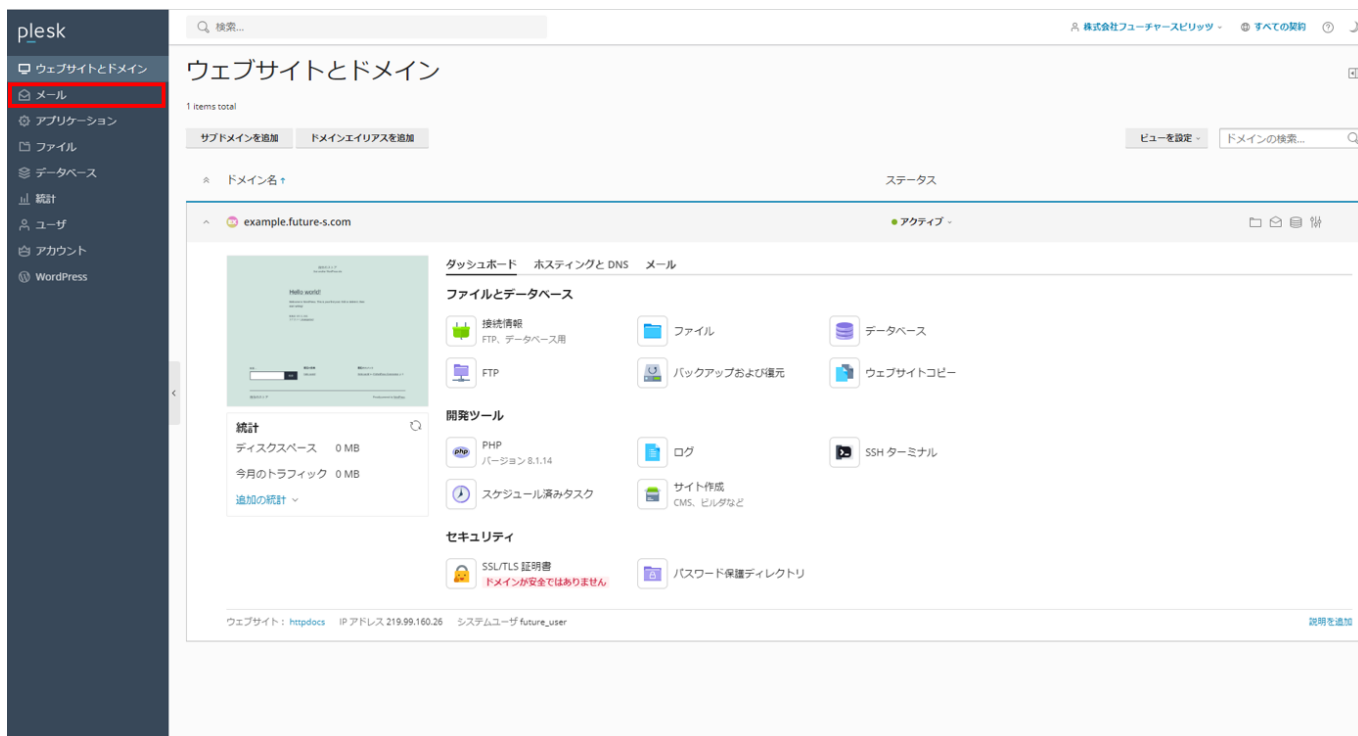


6. 宛先 (To:)、件名、本文を入力し、最後に「送信」ボタンをクリックします。

The screenshot shows an email composition interface. At the top, there is a toolbar with buttons: '送信' (Send), 'スペルチェック' (Spell Check), and '下書きとして保存' (Save as Draft). The '送信' button is highlighted with a red box. Below the toolbar, there are input fields for 'To:', 'Cc 追加', 'Bcc 追加', '件名:', and '添付を追加'. On the right side, there are settings: 'HTML 編集モード' (unchecked), '保存 送信控え' (checked), and '優先度: 通常' (Priority: Normal).

■roundcube の基本的な利用方法

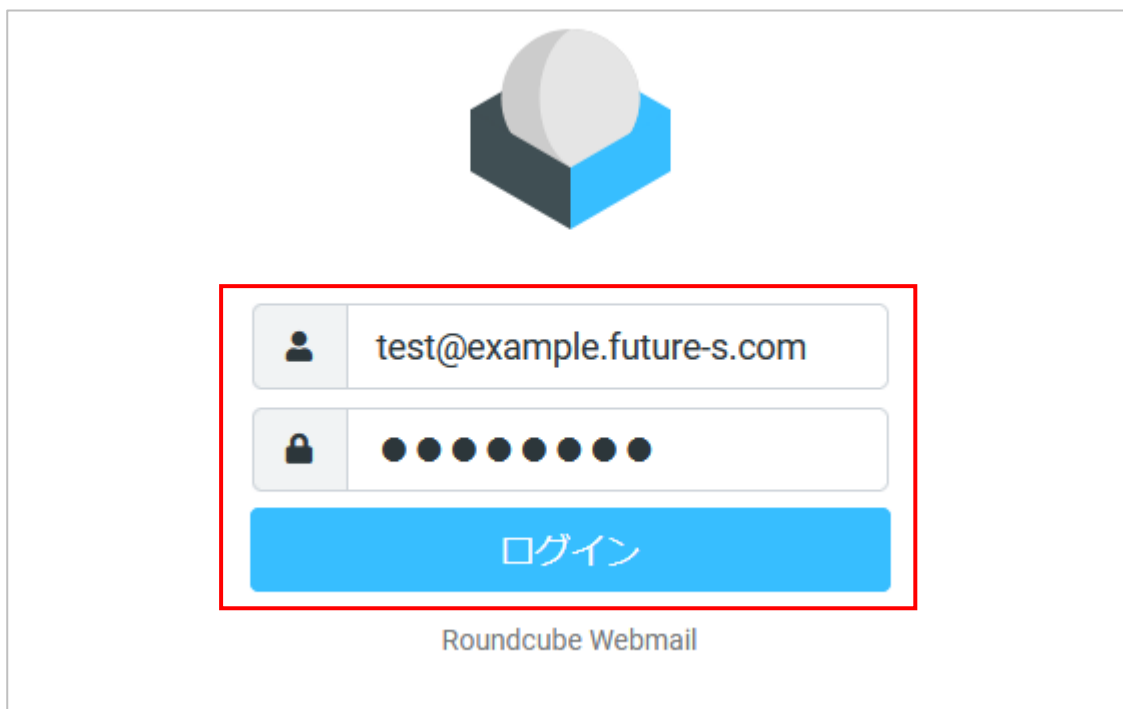
1. Plesk にログインして、左メニューの「WordPress」をクリックします。



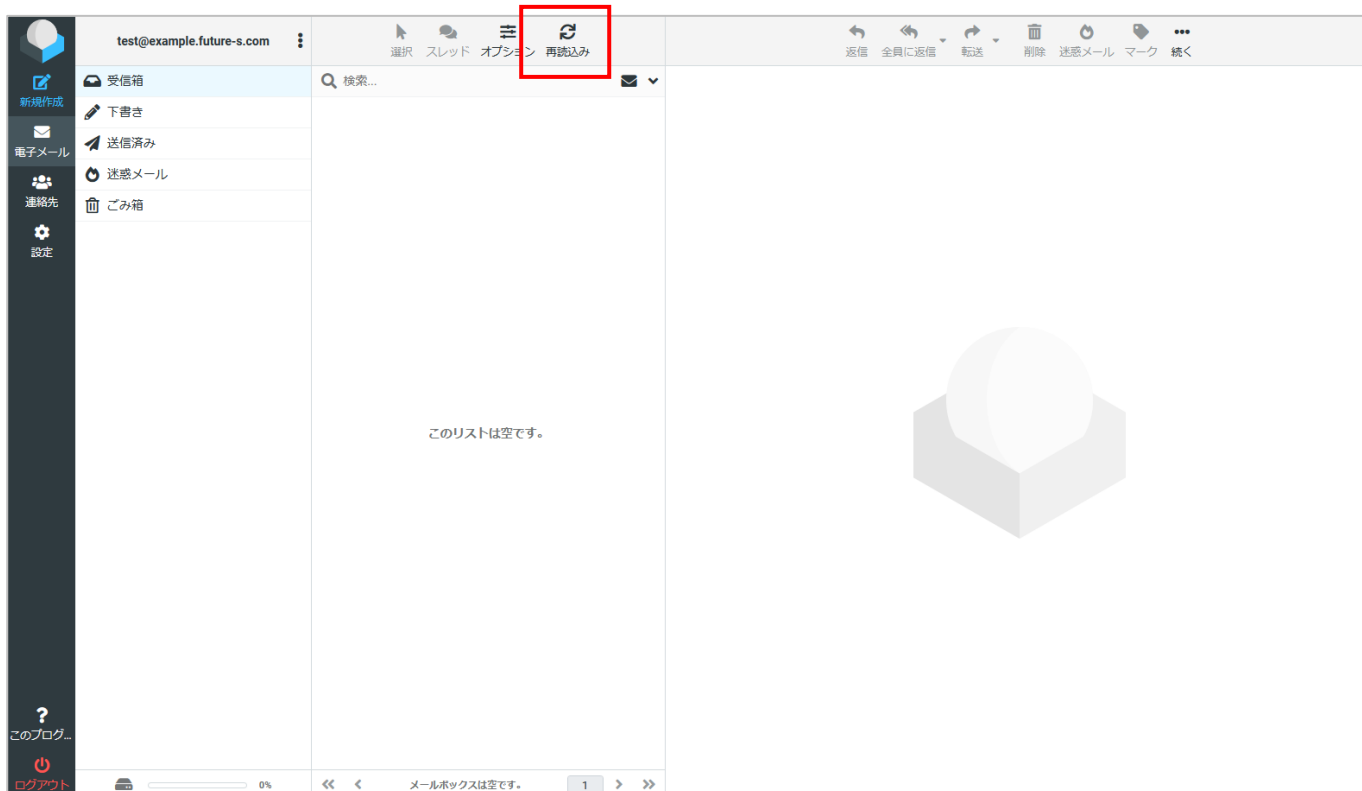
2. 対象メールアドレスの右端にあるウェブメールアイコンをクリックすると、ウェブメールが開きます。



3. 「Roundcube」ログイン画面が開きますので、ユーザ名を確認します。
パスワードを入力後、「ログイン」をクリックします。



4. 新着メールをチェックしたい場合は、「再読み込み」アイコンをクリックすることで、更新します。
ログイン時にサーバーにある未読メールが、自動的に受信箱に一覧表示されます。
対象のメールの件名をクリックすることで、本文が表示されます。



5. 「新規作成」をクリックすると、メッセージ作成の画面が開くので、宛先、件名、本文を入力し、最後に「送信」ボタンをクリックします。

保存 添付 署名 回答 スペル

新規作成

電子メール

連絡先

設定

このプログ...

ログアウト

発信者 test@example.future-s.com

宛先

件名 ここには件名が入ります。

ここには本文が入ります。
ここには本文が入ります。
ここには本文が入ります。

送信

オプションと添付ファイル

添付可能なファイルは最大で32 MBです。

ファイルを追加

開封確認

配送状態通知

優先度 通常

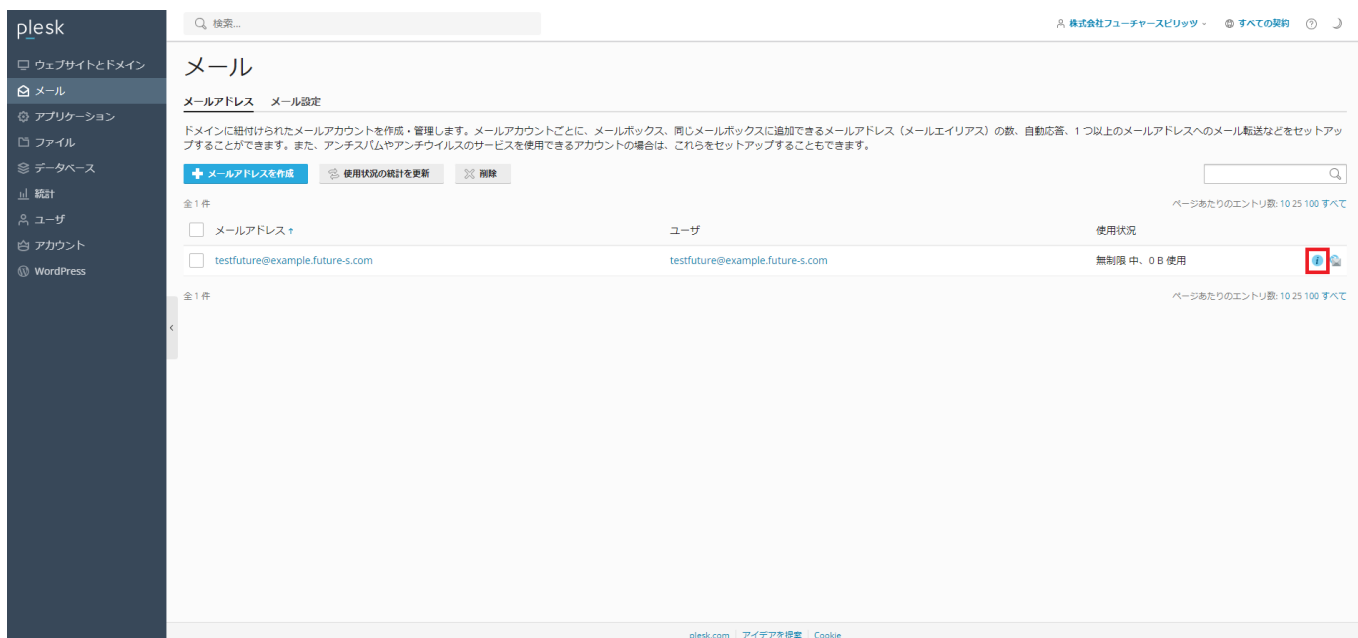
送信したメッセージの保存先 送信済み

メールソフトの設定

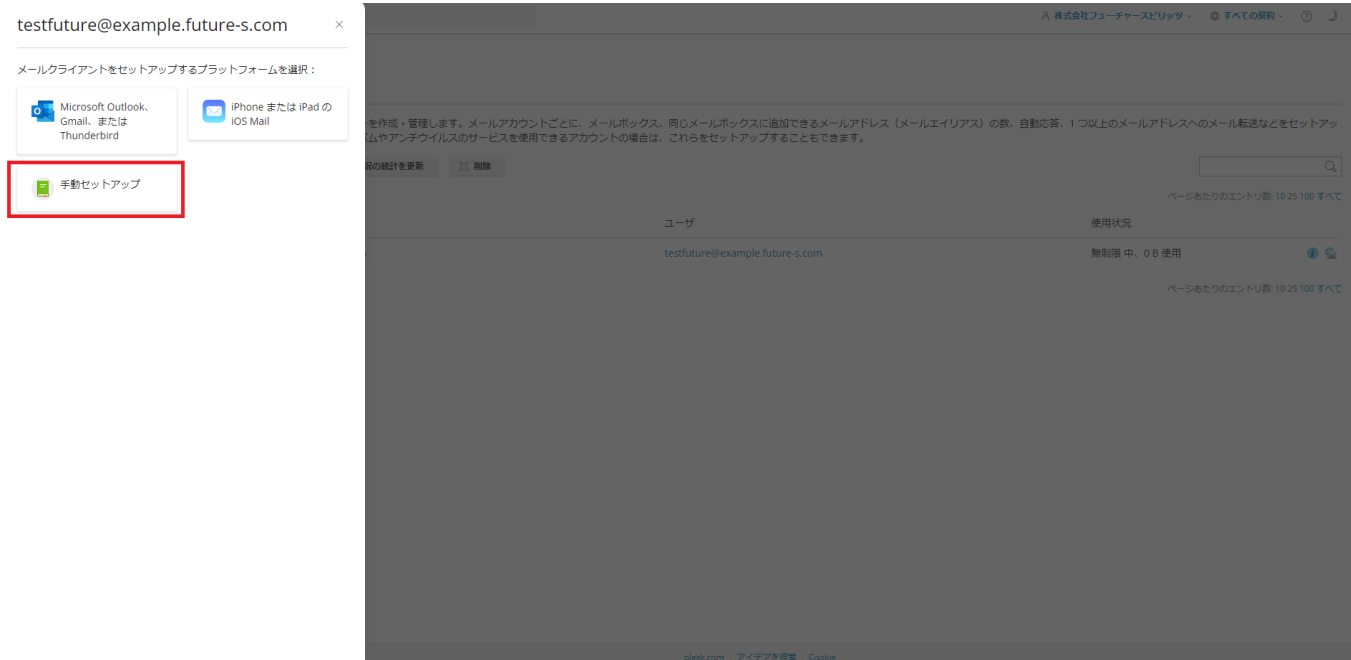
1. Plesk にログインして、「メール」をクリックします。



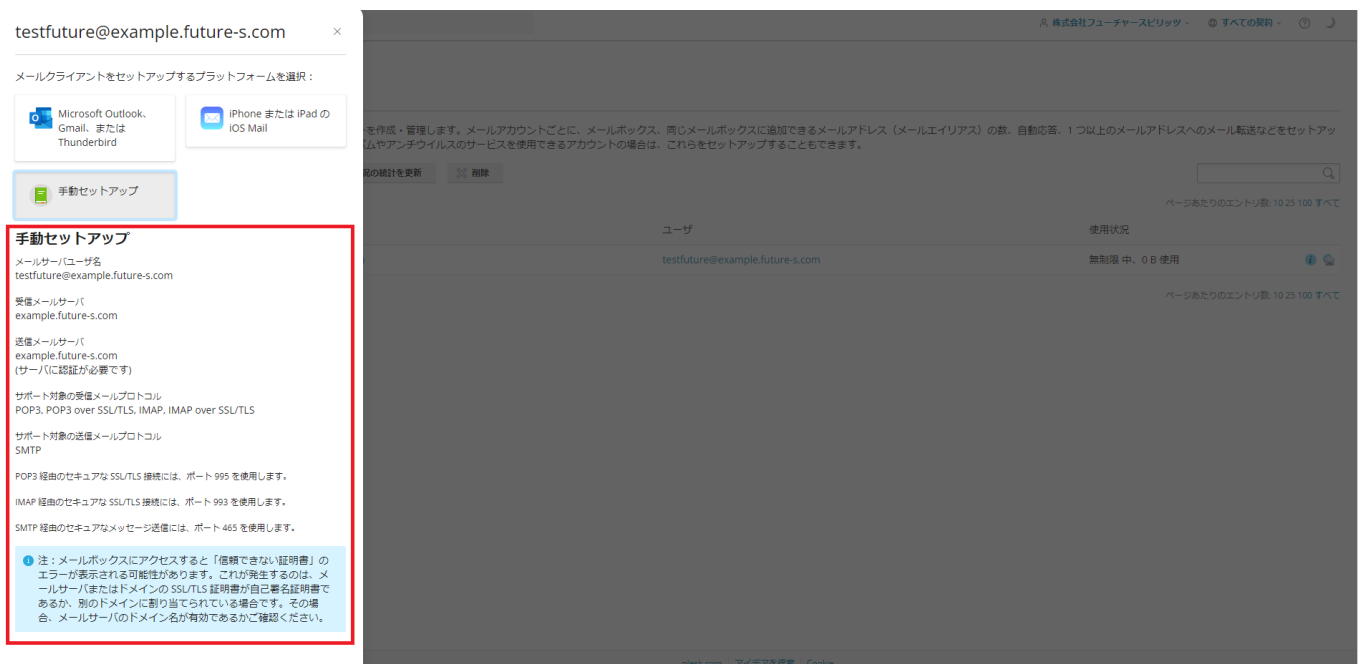
2. 対象メールアドレスの右から 2 番目にある設定アイコン (i) をクリックします。



3. セットアッププラットフォームの中から「手動セットアップ」を選択します。



4. ポップアップウィンドウが表示されメールソフトに設定する値を確認できます。

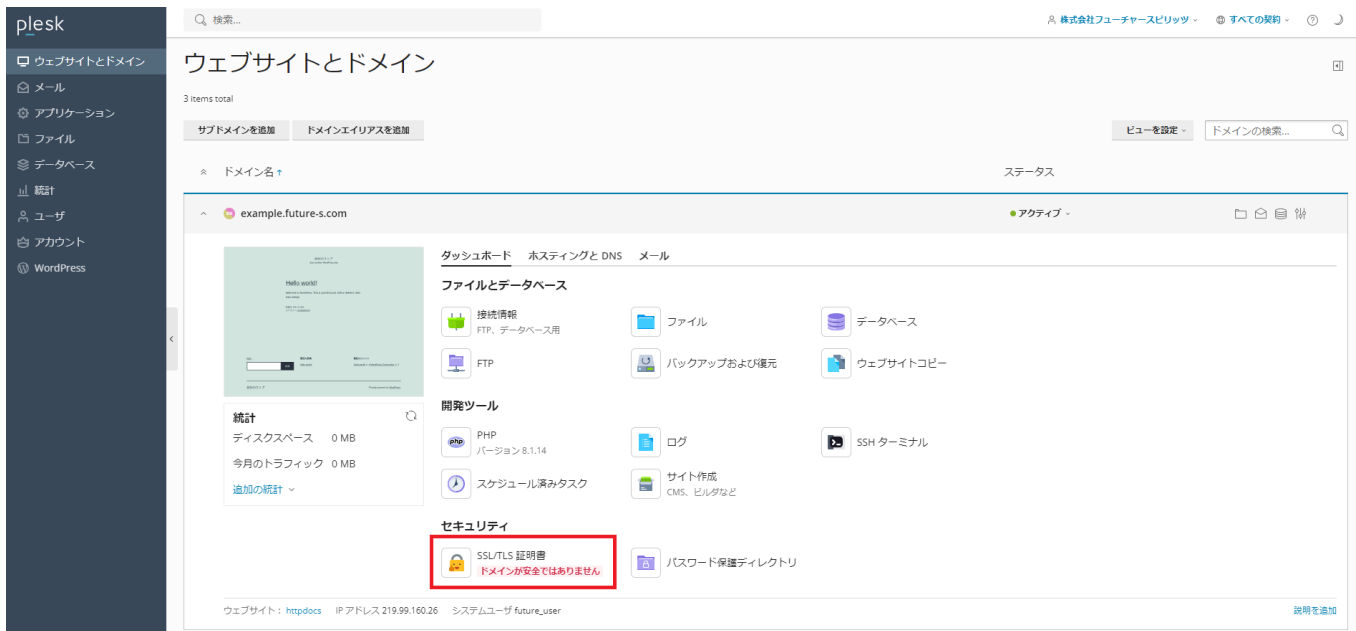


応用編

SSL 証明書の設置(Let's Encrypt)

1. トップページ「SSL/TLS 証明書」をクリックします。

※ 本サービスでは、無料で利用できる SSL 証明書として、Let's Encrypt のインストール機能を提供しております。



2. SSL/TLS 証明書の設定画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

※ DNS をご登録いただいた後でない、と、正しく設定ができません。



3. SSL/TLS 証明書の設定画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。

example.future-s.com の SSL/TLS 証明書

Let's Encrypt エントリレベルの保護

Let's Encrypt は、所有するドメイン用に無料 SSL/TLS 証明書を作成できる認証局（CA）です。
 続行すると、Let's Encrypt ご利用条件を読み、同意したことになります。
 注：証明書は有効期限の 30 日前に自動更新されます。

メールアドレス*

重要な通知や警告を受け取るには、有効なメールアドレスを使用してください。

☒ **ドメイン名を保護**
example.future-s.com

☐ **ワイルドカードドメインを保護** (www とウェブメールを含む)
*.example.future-s.com

☐ **ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める**
www.example.future-s.com

☐ **このドメインでウェブメールを保護**
webmail.example.future-s.com

☐ **メールドメインに証明書を割り当てる**
example.future-s.com の IMAP、POP、SMTP

無料で取得
キャンセル

メールアドレス	メールアドレスを入力
ドメイン名を保護	予めチェックが入っています ※チェックを外すと証明書の取得ができません
ワイルドカードドメインを保護(www とウェブメール含む)	ワイルドカードで SSL 証明書を設置したい場合はチェック ※基本的にはチェック不要です
ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める	「www」有りで SSL 証明書の設置を希望される場合はチェック
このドメインでウェブメールを保護	ウェブメールに SSL 証明書を利用する場合はチェック ※発効後は「メール設定」より SSL/TLS 証明書をご登録ください
メールドメインに証明書を割り当てる	メールに SSL 証明書を利用する場合はチェック ※発効後は「メール設定」より SSL/TLS 証明書をご登録ください

4. 「無料で取得」をクリックすると、SSL 証明書の設置が完了します。

example.future-s.com の SSL/TLS 証明書

Let's Encrypt エントリレベルの保護

Let's Encrypt は、所有するドメイン用に無料 SSL/TLS 証明書を作成できる認証局（CA）です。
 続行すると、Let's Encrypt ご利用条件を読み、同意したことになります。
 注：証明書は有効期限の 30 日前に自動更新されます。

メールアドレス*

重要な通知や警告を受け取るには、有効なメールアドレスを使用してください。

☒ **ドメイン名を保護**
example.future-s.com

☐ **ワイルドカードドメインを保護** (www とウェブメールを含む)
*.example.future-s.com

☐ **ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める**
www.example.future-s.com

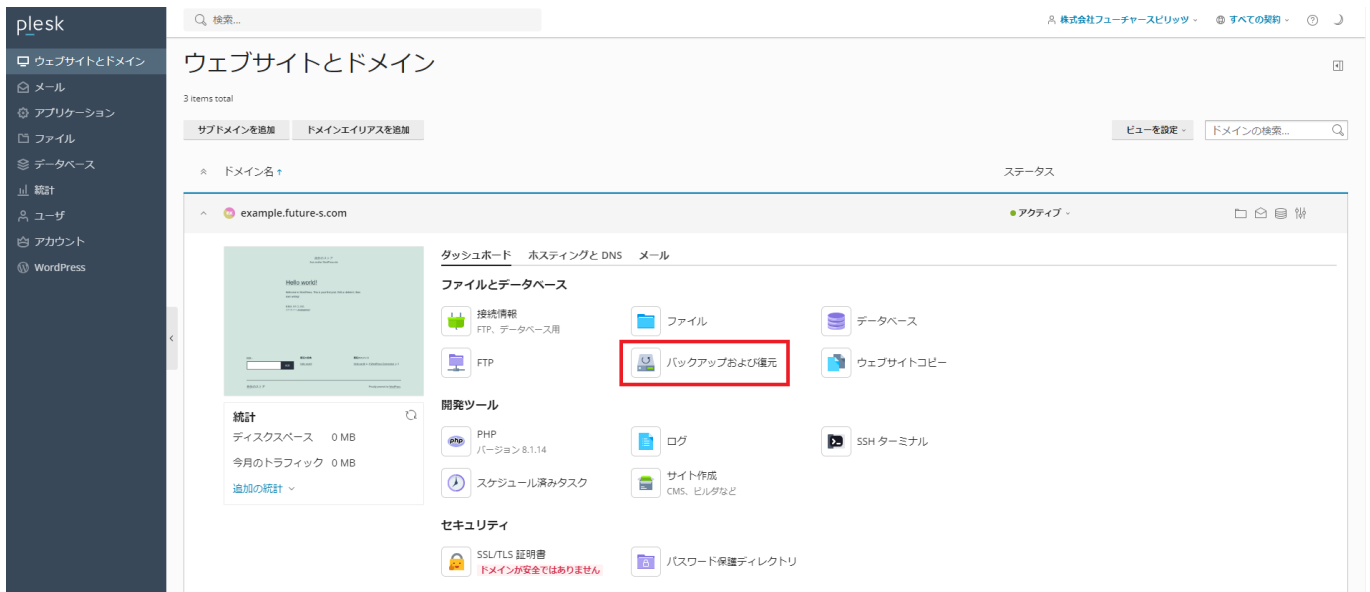
☐ **このドメインでウェブメールを保護**
webmail.example.future-s.com

☐ **メールドメインに証明書を割り当てる**
example.future-s.com の IMAP、POP、SMTP

無料で取得
キャンセル

バックアップの設定（自動バックアップ）

1. Plesk にログインして、トップページの「バックアップおよび復元」をクリックします。



2. 「スケジュール」をクリックします。



3. バックアップの設定内容を入力します。



このバックアップタスクをアクティブにする		有効にする場合は、チェック。
バックアップタスクの実行スケジュール		「毎日」、「毎週」、「毎月」より選択し、時刻を選択。
増分バックアップを使用		有効にする場合は、チェック。
フルバックアップを実行		「毎週」、「毎月」、「毎年」より選択。
保存するフルバックアップファイルの最大数		保存するフルバックアップ数。
バックアップ	メールメッセージ	バックアップしたい項目を選択し、チェック。
	ユーザファイル	
	データベース	
保存場所		バックアップファイルの保存に FTP サーバーを使用する場合、「リモートストレージ」を入力し選択。
ログファイルを除外		ログファイルをバックアップから外したい場合は、チェック。
バックアップから特定のファイルを除外		特定のファイルをバックアップから外したい場合はチェックを入れ、ファイルを指定します。
このバックアップタスクを実行中にエラーが発生したときに、次の宛先に通知メールを送信		バックアップでエラーが発生したときのメール通知先。

4. 「Save」をクリックすると設定が完了します。

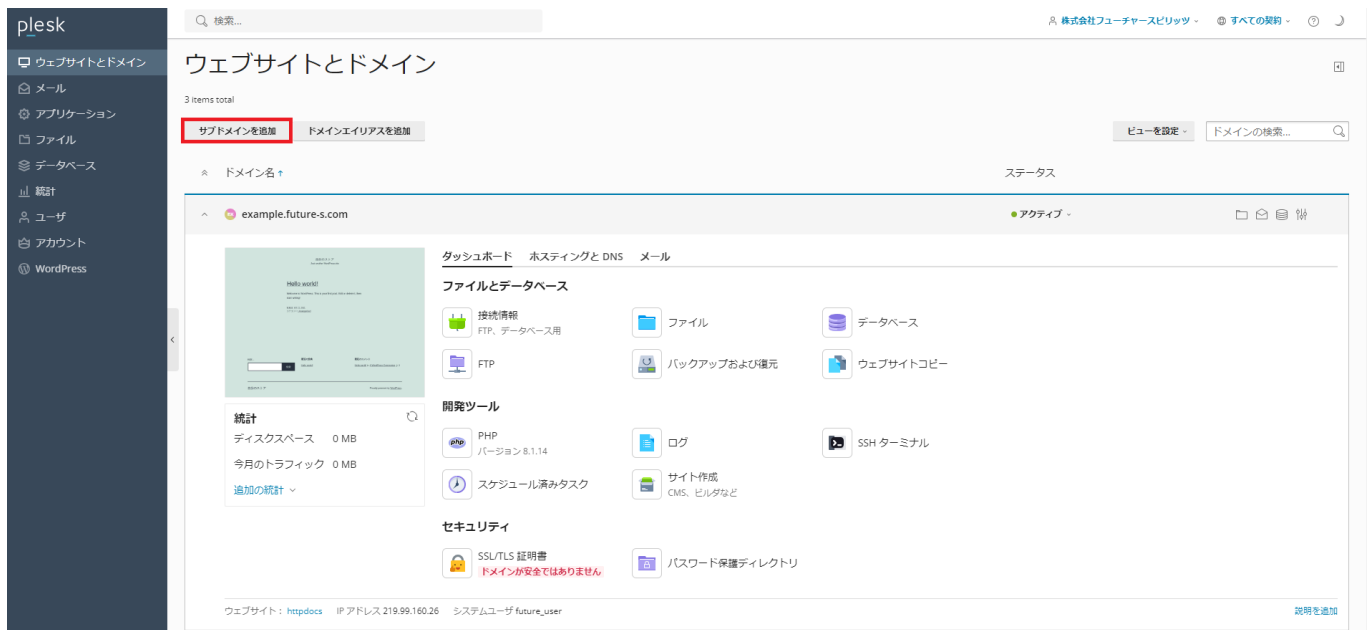
ドメインの追加

ドメイン追加はお客様ではできないため、弊社へご依頼いただく必要があります。
ご希望のお客様は、フューチャースピリッツサポート窓口もしくは営業担当までご依頼ください。
サポートセンターメールアドレス：support@future-s.com

サブドメインの作成

1. Plesk にログインして、トップページの「サブドメインを追加」をクリックします。

※複数ドメインを管理頂いている場合、ドメイン部分も選択いただくことも可能です。



2. サブドメイン名に任意のサブドメインを入力します。

※ ドキュメントルートについては自動で入力されますが、任意で設定いただくことも可能です。



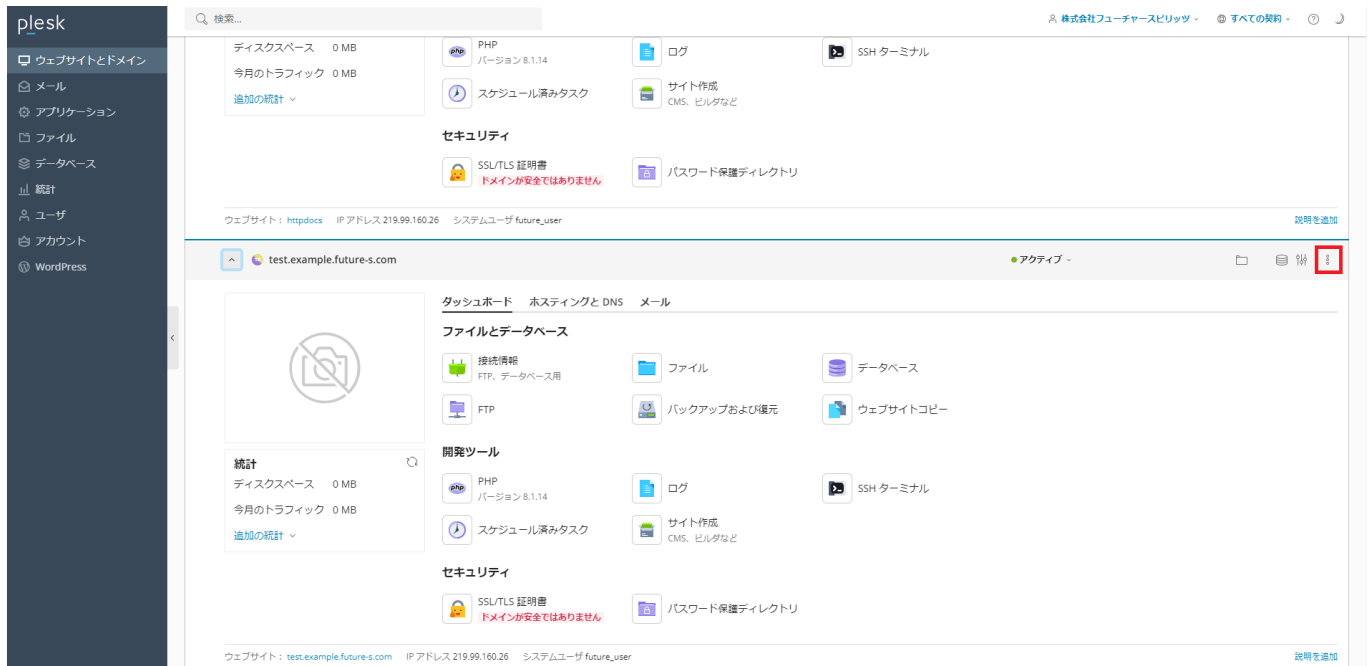
3. 「OK」をクリックすると設定が完了します。

※ サブドメインで Web やメールをご利用頂くには、DNS の設定が必要です。

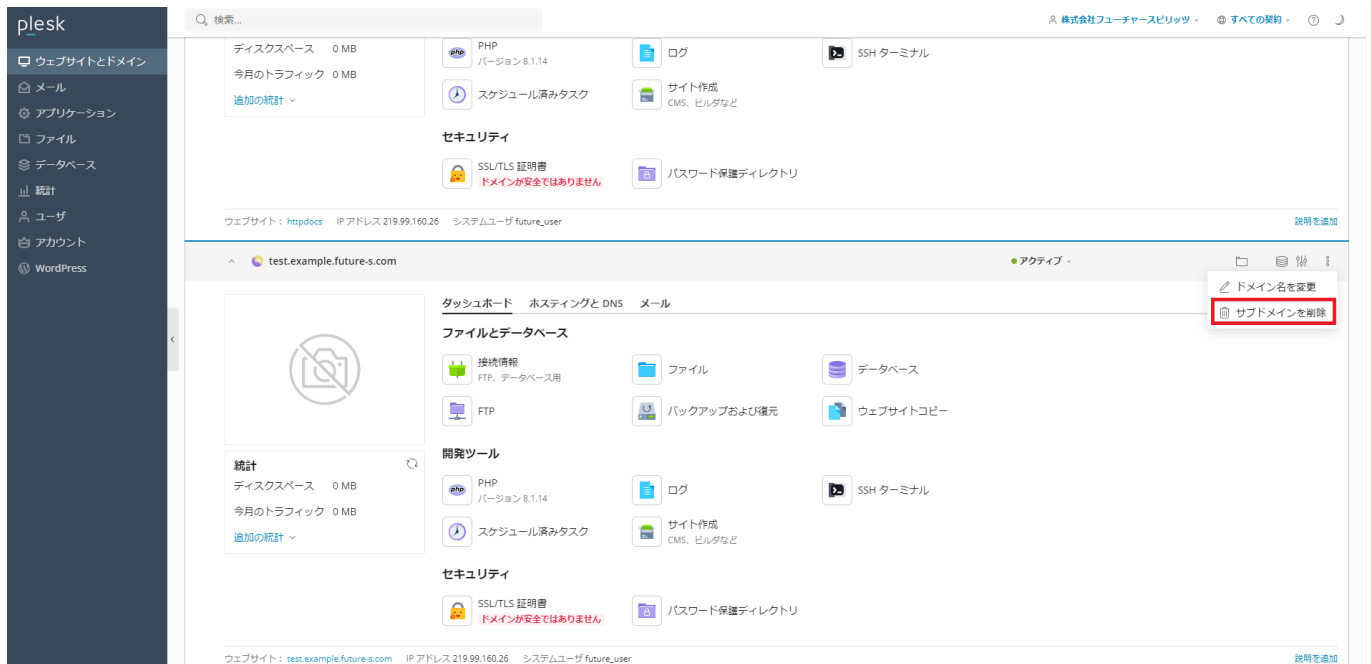
DNS の設定については、フューチャースピリッツサポート窓口もしくは営業担当までご依頼、ご相談ください。
サポートセンターメールアドレス: support@future-s.com

サブドメインの削除

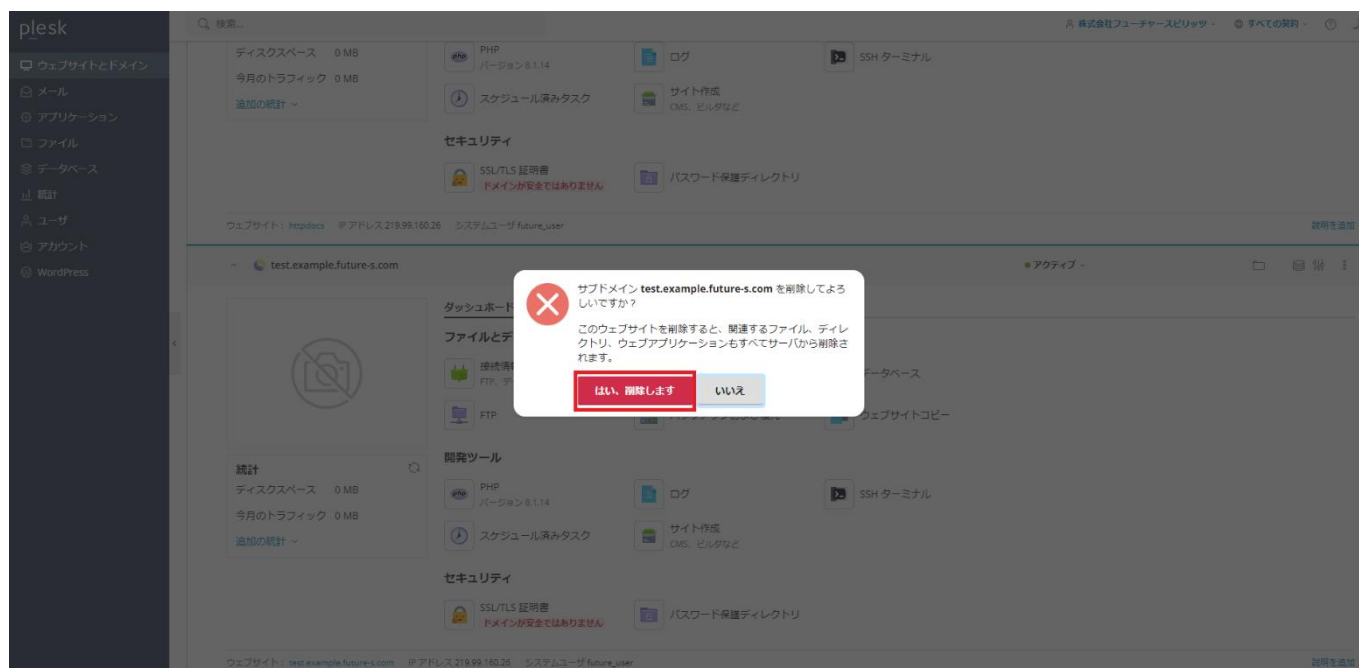
1. Plesk にログインして、削除したいサブドメインの三点リーダーをクリックします。



2. 「サブドメインを削除」をクリックします。



3. ポップアップ内の「はい、削除します」をクリックしサブドメインを削除します。



DNS 切り替え

他社の DNS から弊社 DNS への切り替えまたは、弊社から他社へ切り替えされる場合は、フューチャースピリッツサポート窓口もしくは営業担当までご依頼ください。

ご依頼の際は、変更希望日時や切り替え対象となるドメイン等をお知らせください。

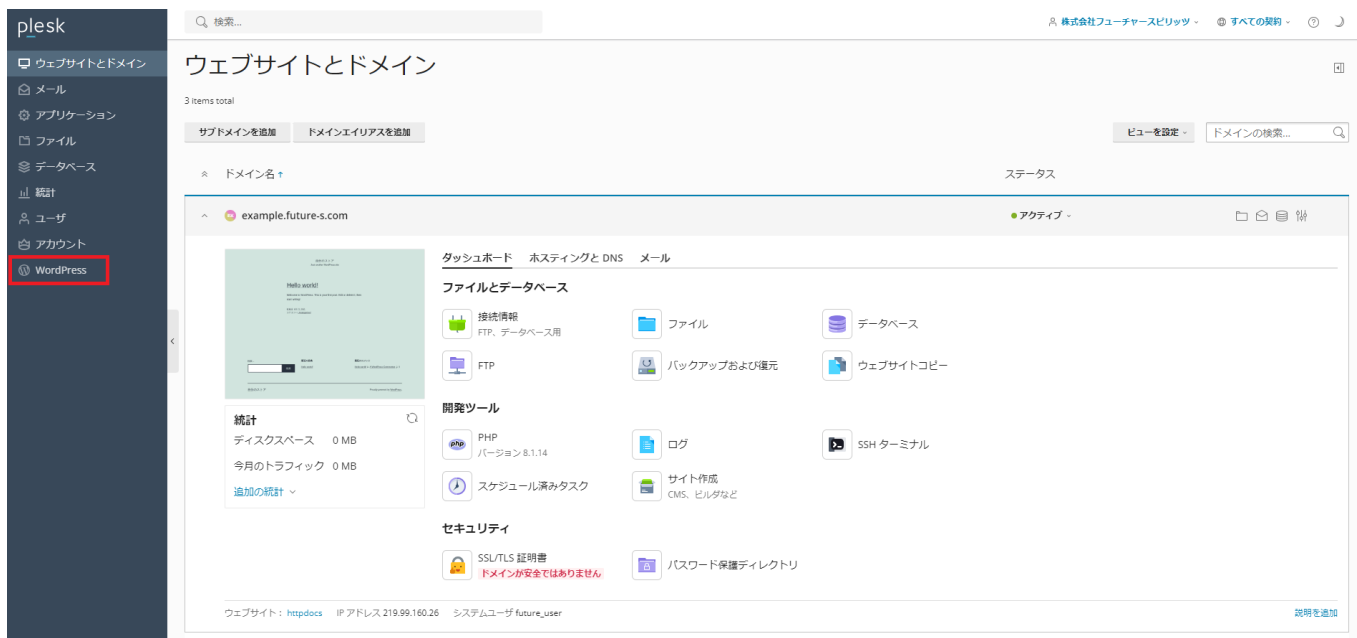
サポートセンターメールアドレス: support@future-s.com

WordPress Toolkit の利用

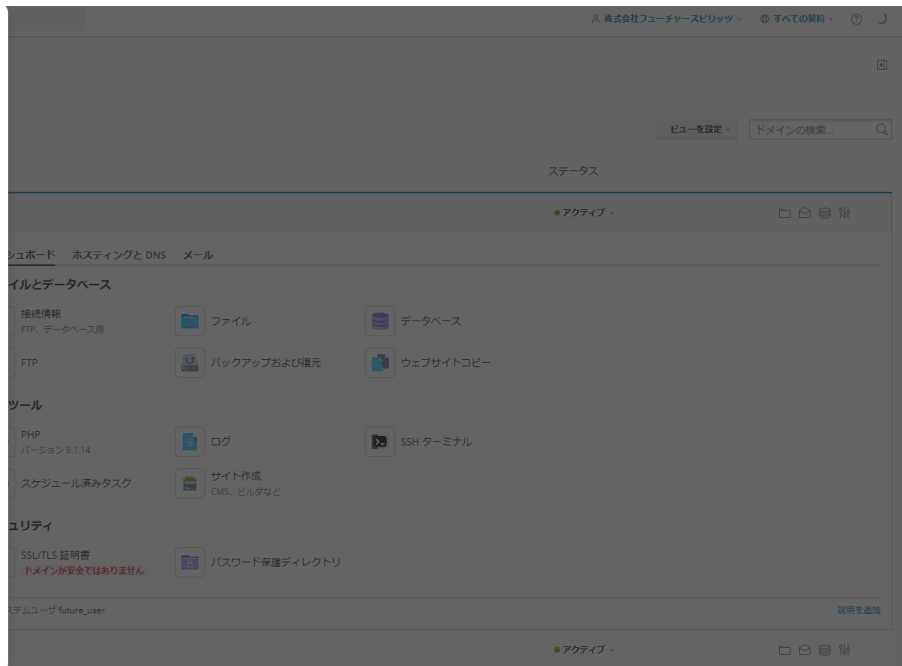
WordPress Toolkit では、WordPress を簡単にインストールできる『簡易インストール』や、ステージング環境をワンクリックで作成できる『複製』機能、別の WordPress 環境にデータをコピーできる『同期』機能を利用することが可能です。

■ WordPress のインストール

1. Plesk にログインして、左メニューの「WordPress」をクリックします。



2. サイト作成から WordPress をクリックします。



3. インストール時の設定項目が表示されますので入力してください。

全般

インストールパス	WordPress をインストールしたいパスを入力します。
ウェブサイトのタイトル	ウェブサイトのタイトルを入力します。
プラグイン/テーマセット	WordPress のプラグインを選択できます。
ウェブサイトの言語	言語を設定できます。特に指定がなければ「日本語」を選択します。
バージョン	任意のバージョンを選択します。
ユーザ名	WordPress のユーザ名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
メールアドレス	WordPress に登録するメールアドレスを入力します。

データベース

データベース名	データベースの名前を入力します。
データベーステーブルのプレフィックス	データベーステーブルの頭文字を入力します。
データベースユーザ名	データベースのユーザ名を入力します。
データベースユーザのパスワード	データベースのパスワードを入力します。

自動更新の設定

WordPress を自動更新	WordPress を自動更新するかどうか選択できます。 ※初期設定の状態が推奨されています。
プラグインを自動更新	プラグインを自動更新するかどうか選択できます。
テーマを自動更新	テーマを自動更新するかどうか選択できます。

4. WordPress のプラグインをインストールしたい場合は、「プラグインをインストール」を選択してください。

ここでは「いいえ、必要ありません」を選択します。

※インストール完了後も WordPress の管理画面よりプラグインのインストールが可能です。



5. 下記のようなページが表示されれば、インストールは完了です。



■複製機能

1. Plesk にログインして、左メニューの「WordPress」をクリックします。



2. 画面中央のダッシュボード内にある「複製」をクリックします。



3. サブドメイン名、データベース名を指定したい場合は、必要項目を入力してください。その後「開始」をクリックします。

ワンダーラストを複製

場所

ソース

ターゲット

データベース

名前

example.future-s.com [リンクを表示](#)

☒ サブドメインを作成

staging example.future-s.com /

パス

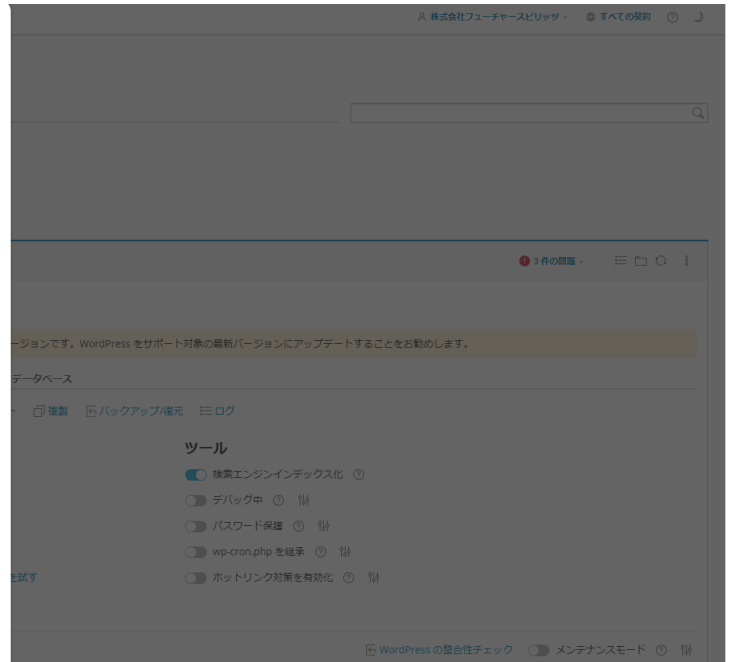
ルートディレクトリで複製するには空欄にしてください。

☐ 既存のドメインを使用

wp_8hk71

開始

キャンセル



4. 下記ページが表示されれば、複製は完了です。

ワンダーラストを複製

場所

ソース

サブドメインを作成

example.future-s.com

staging.example.future-s.com

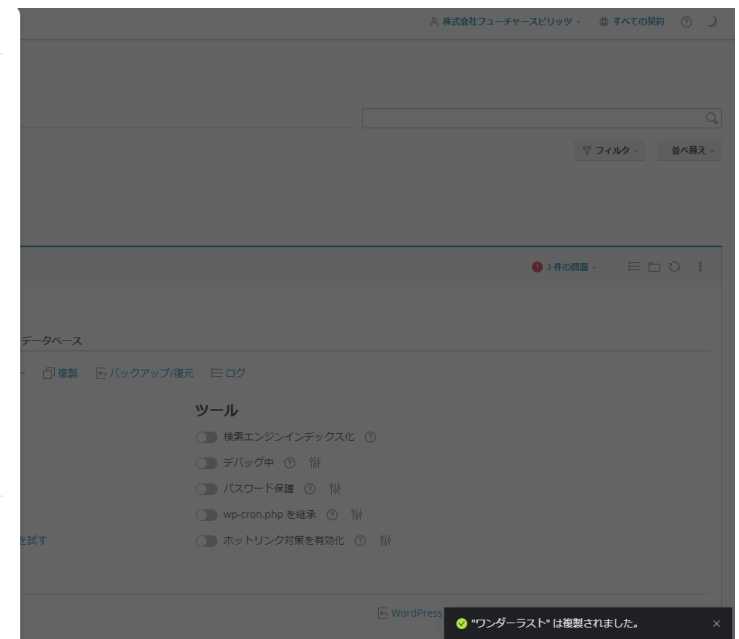
"ワンダーラスト"は複製されました。

✓ ファイルをコピー中

✓ データベースをコピー中

✓ 構成ファイルを更新中

閉じる



■同期機能

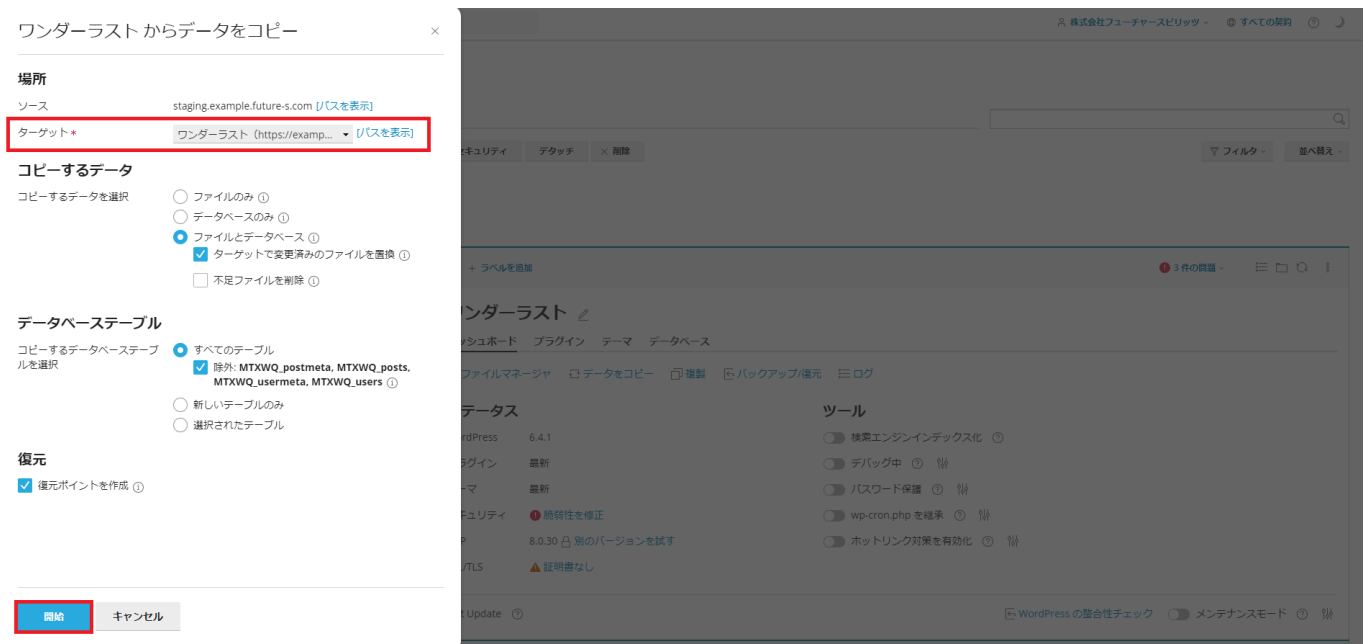
1. Plesk にログインして、左メニューの「WordPress」をクリックします。



2. 「データをコピー」をクリックします。

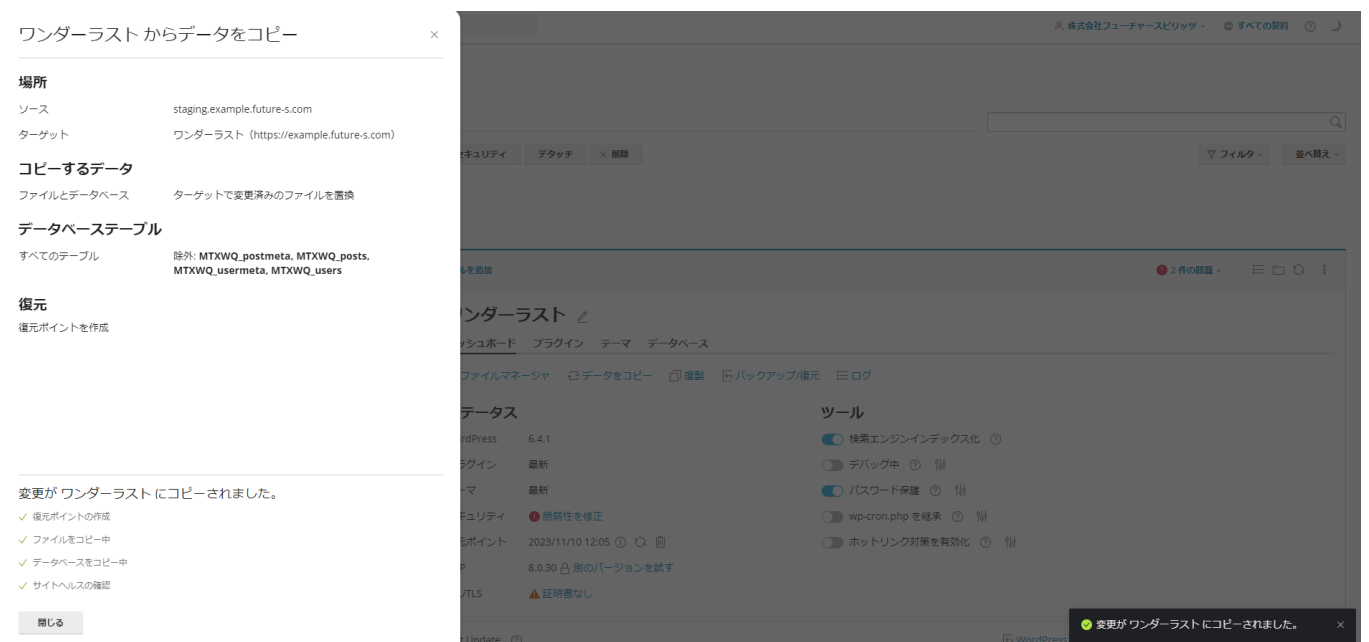


3. 「ターゲット」の検索エリアをクリックし、同期先を選択。
コピー先のドメインをチェックし、「開始」をクリックします。



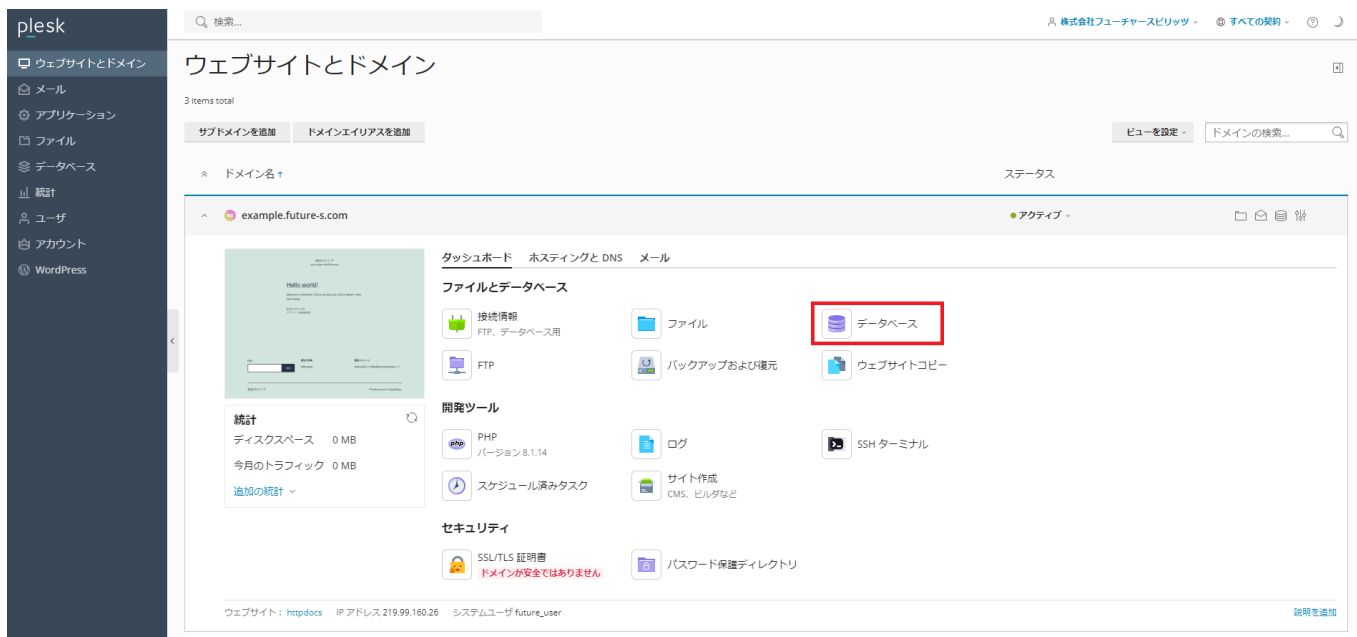
コピーするデータを選択	コピーしたいデータの内容によって、選択します。
コピーするデータベーステーブルを選択	コピーしたいデータベーステーブルを選択します。

4. 下記ページが表示されれば、同期は完了です。

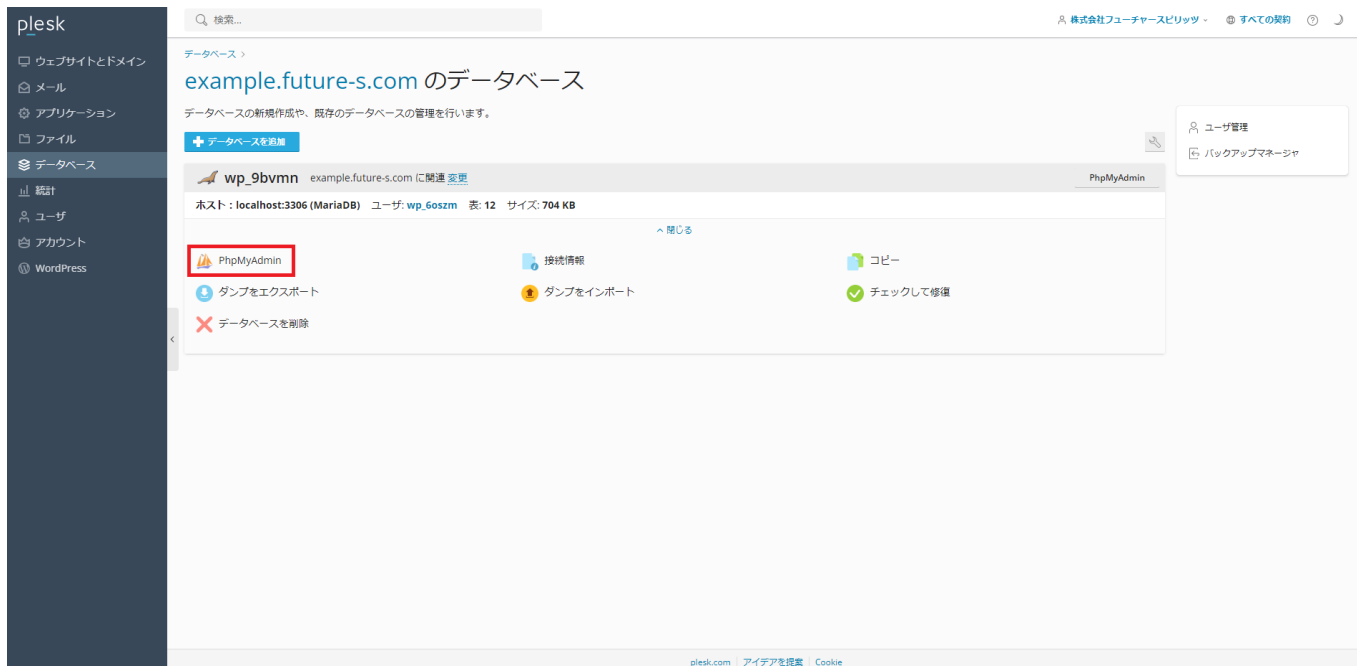


phpMyAdmin へのアクセス

1. トップページ の右側メニューにある「データベース」をクリックします。



2. アクセスしたいデータベースの「phpMyAdmin」をクリックすると、「phpMyAdmin」の管理画面が表示されます。

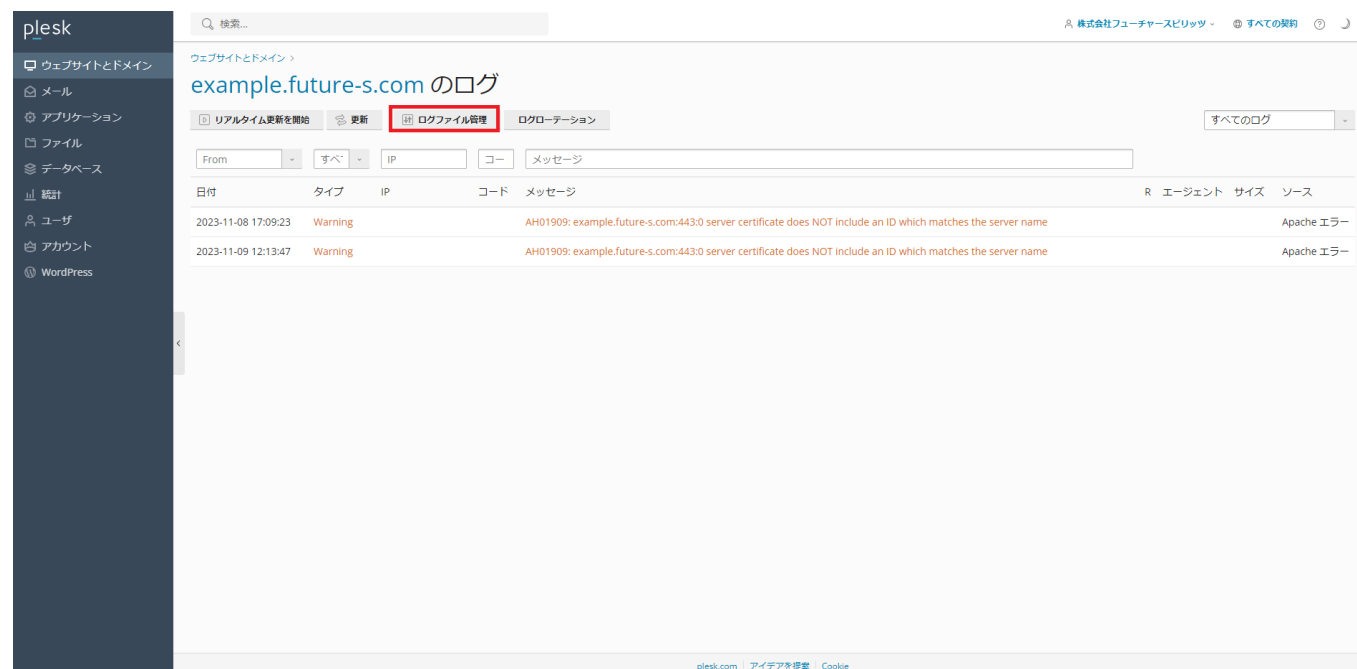


アクセスログの取得

1. Plesk にログインして、「ログ」をクリックします。

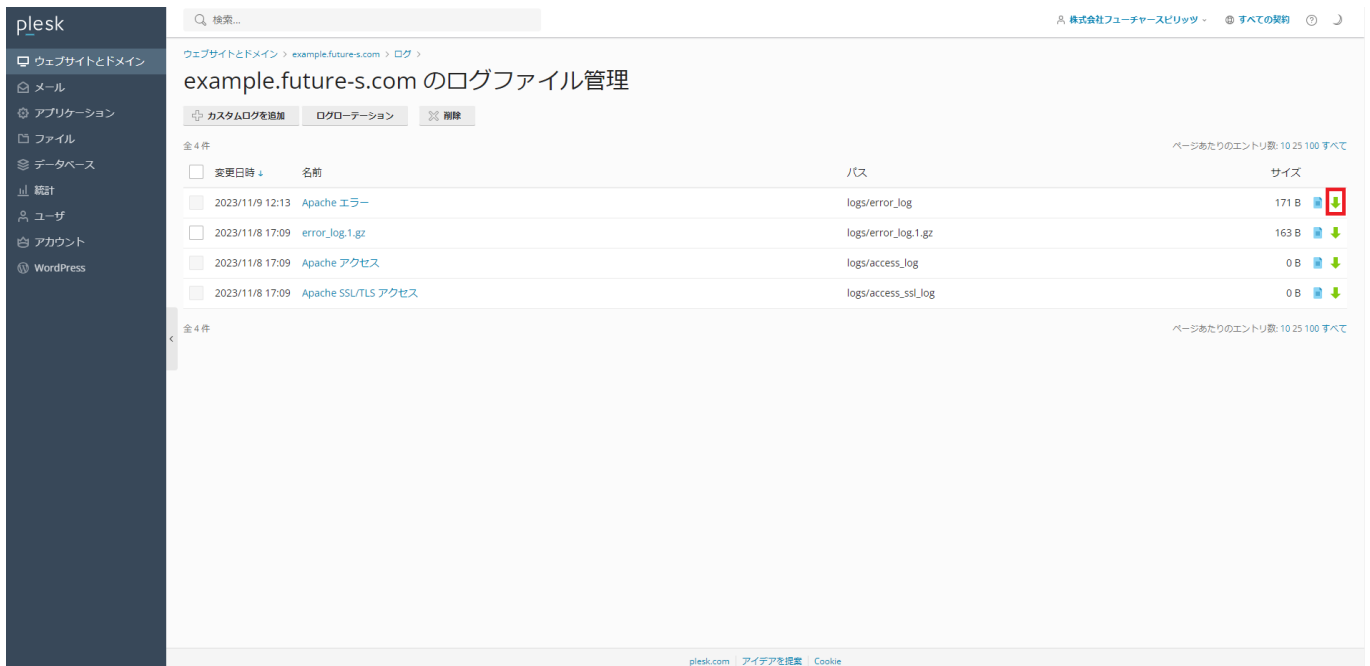


2. 「ログファイルの管理」をクリックします。



3. ログファイルの一覧が表示されます。

取得したいログファイルの右側にあるダウンロードアイコンをクリックすると、ダウンロード完了です。



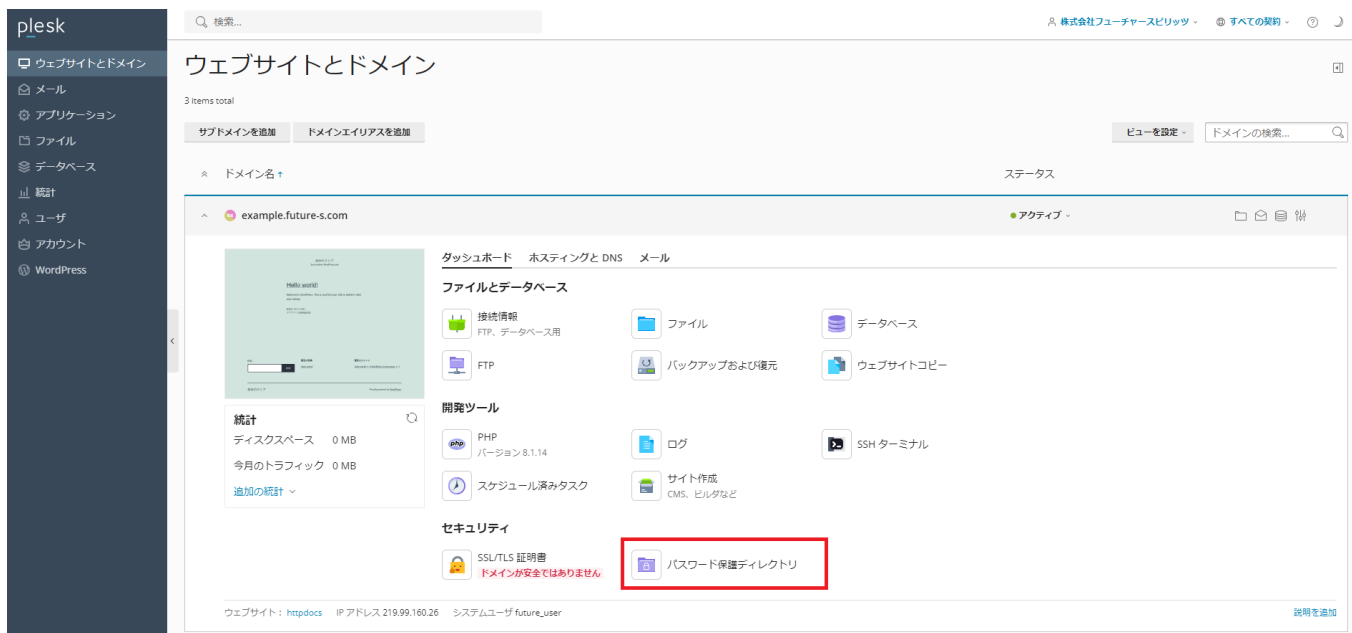
The screenshot shows the Plesk control panel interface. On the left is a dark sidebar with navigation links: 'plesk', 'ウェブサイトとドメイン', 'メール', 'アプリケーション', 'ファイル', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The main content area is titled 'example.future-s.com のログファイル管理'. Below the title are buttons for 'カスタムログを追加', 'ログローテーション', and '削除'. A table lists log files with the following data:

<input type="checkbox"/>	変更日時 ↓	名前	パス	サイズ
<input type="checkbox"/>	2023/11/9 12:13	Apache エラー	logs/error_log	171 B
<input type="checkbox"/>	2023/11/8 17:09	error_log.1.gz	logs/error_log.1.gz	163 B
<input type="checkbox"/>	2023/11/8 17:09	Apache アクセス	logs/access_log	0 B
<input type="checkbox"/>	2023/11/8 17:09	Apache SSL/TLS アクセス	logs/access_ssl_log	0 B

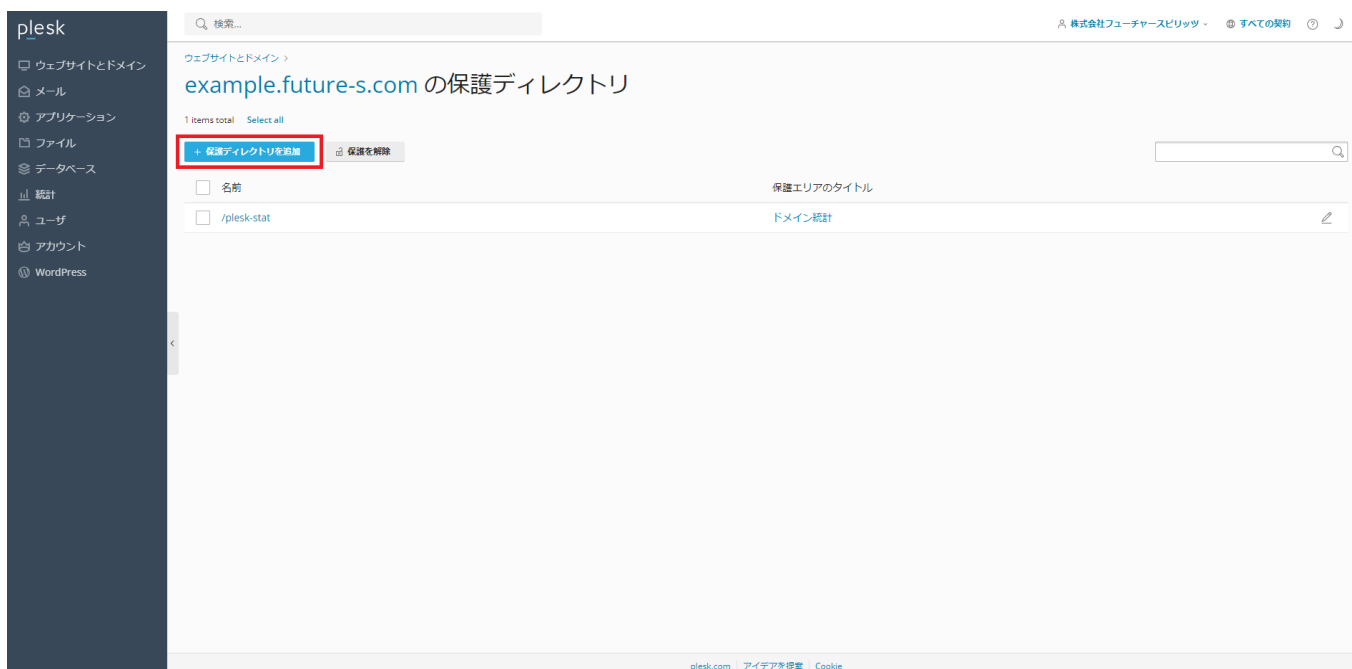
At the bottom of the table, there are icons for each log file: a blue square icon and a green arrow icon (download). The first row's green arrow icon is highlighted with a red box. The footer of the page includes 'plesk.com', 'アイデアを提案', and 'Cookie'.

パスワード保護ディレクトリ(BASIC 認証)の利用

1. Plesk にログインして、「パスワード保護ディレクトリ」をクリックして、「作成」をクリックします。



2. 「保護ディレクトリを追加」をクリックします。



3. 保護ディレクトリの設定内容を入力します。

保護ディレクトリを作成します

ディレクトリ名*

/

保護エリアのタイトル

作成

Cancel

保護ディレクトリ

保護エリアのタイトル

ドメイン統計

ディレクトリ名	BASIC 認証を設定したいディレクトリ
保護エリアのタイトル	説明文を記載します。

4. 下記ページが表示されますので、作成した「/」をクリックします。

plesk

ウェブサイトとドメイン

メール

アプリケーション

ファイル

データベース

統計

ユーザ

アカウント

WordPress

検索...

株式会社フューチャースピリッツ

すべての契約

ウェブサイトとドメイン

example.future-s.com の保護ディレクトリ

2 items total Select all

+ 保護ディレクトリを追加

保護を削除

名前

保護エリアのタイトル

ドメイン統計

/

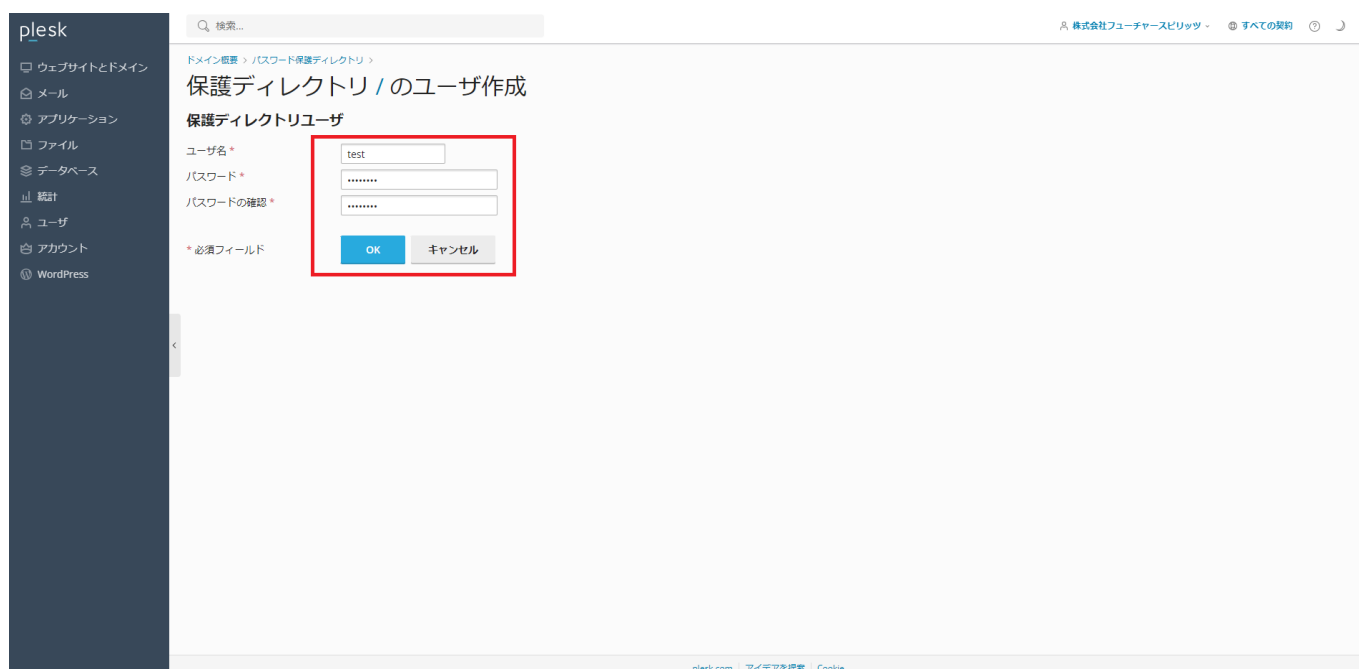
/plesk-stat

保護ディレクトリ / を作成しました

5. BASIC 認証のユーザ名を追加します。「ユーザを追加」をクリックします。



6. 保護ディレクトリ(BASIC 認証)のユーザ作成画面が表示されますので、下記の必要項目を入力してください。



ユーザ名	BASIC 認証で利用するユーザ名
新規パスワード	新しく設定したいパスワード
パスワードの確認	新しく設定したいパスワード

7. 「OK」をクリックすると設定が完了します。

スパムメールの振り分け

「FutureWeb Pro/VPS」では、ウィルスチェックを行い、メールのヘッダ情報にスパムチェック結果が記載されます。スパムチェック結果は下記のように「X-Spam-Level: *****」のように表示され、「*」の数にてスコア値を示しています。

```
X-Spam-Flag: YES
X-Spam-Level: *****
X-Spam-Status: Yes, score=8.3
```

より細かく設定を行いたい場合は、上記の「X-Spam-Level」値の「*」数を元に、お客様のメーラーにてメールの振り分けを行うことが可能です。

「*」の数が少ないほどスパム判定が厳しくなります。

※メーラーでの振り分け設定は、各ソフトウェア提供元にお問い合わせください。

ヘッダ情報については下記を参考ください。

ヘッダ情報	説明
X-Spam-Flag	スパム判定のスコアが6を超えると YES になります
score	スパム判定のスコアが数値で表されます
X-Spam-Level	スパム判定のスコアが * の数で表されます
X-Spam-Status	スパム判定の詳細情報が含まれます

スパムメールを判断するスコア値の目安は下記を参考ください。

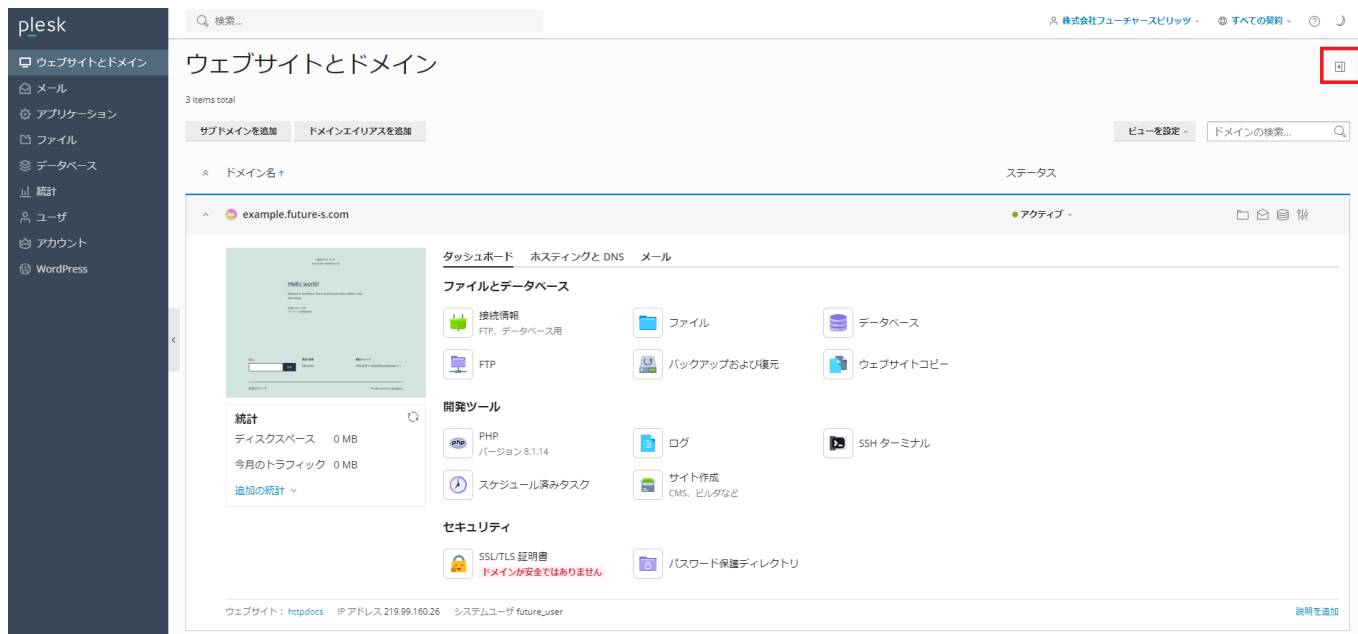
スコア値（「*」の数）	判断基準
3 以上	通常のメールも迷惑メール扱いになる可能性があります
7 以上（標準）	迷惑メールの可能性があります
10 以上	ほぼ迷惑メール
20 以上	高い確率で迷惑メール

SSH 接続用の公開鍵登録

1. 秘密鍵と、公開鍵を作成します。

※ 本マニュアルでは秘密鍵と公開鍵の作成手順は記載しておりません。

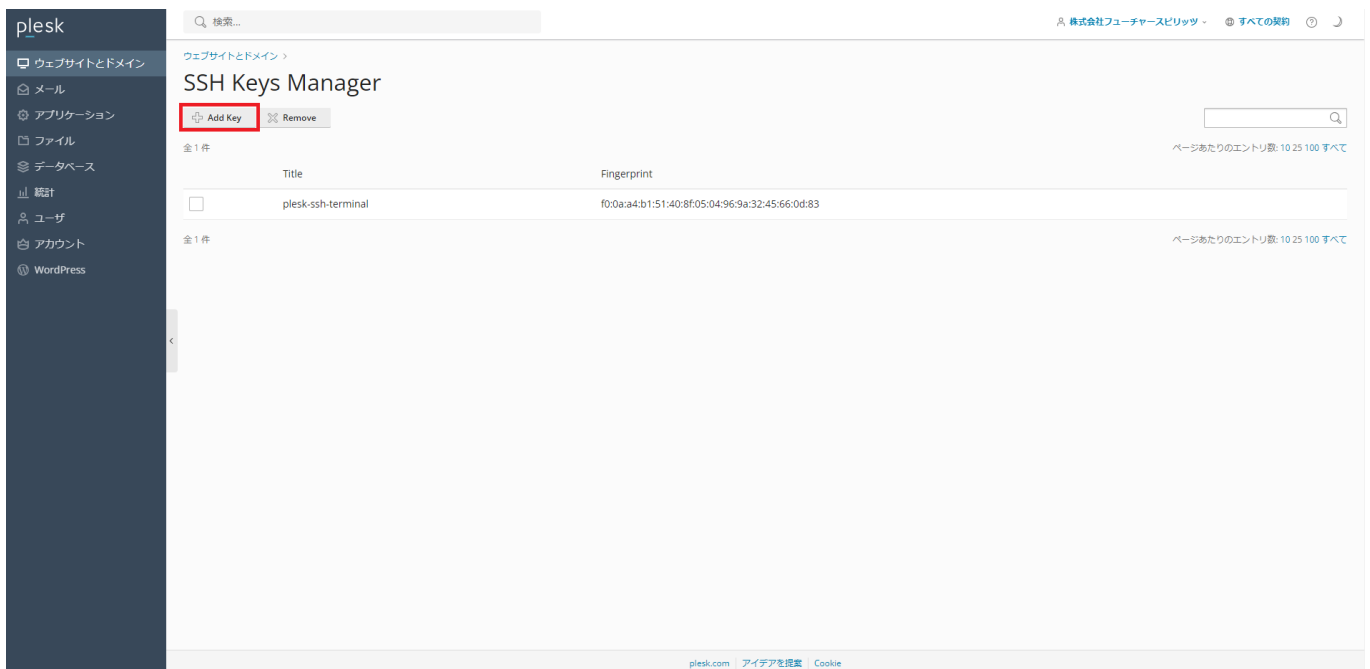
2. 右上のナビゲーションメニューをクリックします。



3. 右側メニューに表示される「SSH Keys」をクリックします。



4. 「Add Key」をクリックします。



5. 作成した公開鍵を「Key」欄に入力し、「Add」をクリックすると、公開鍵がサーバーにアップロードされ登録が完了します。

